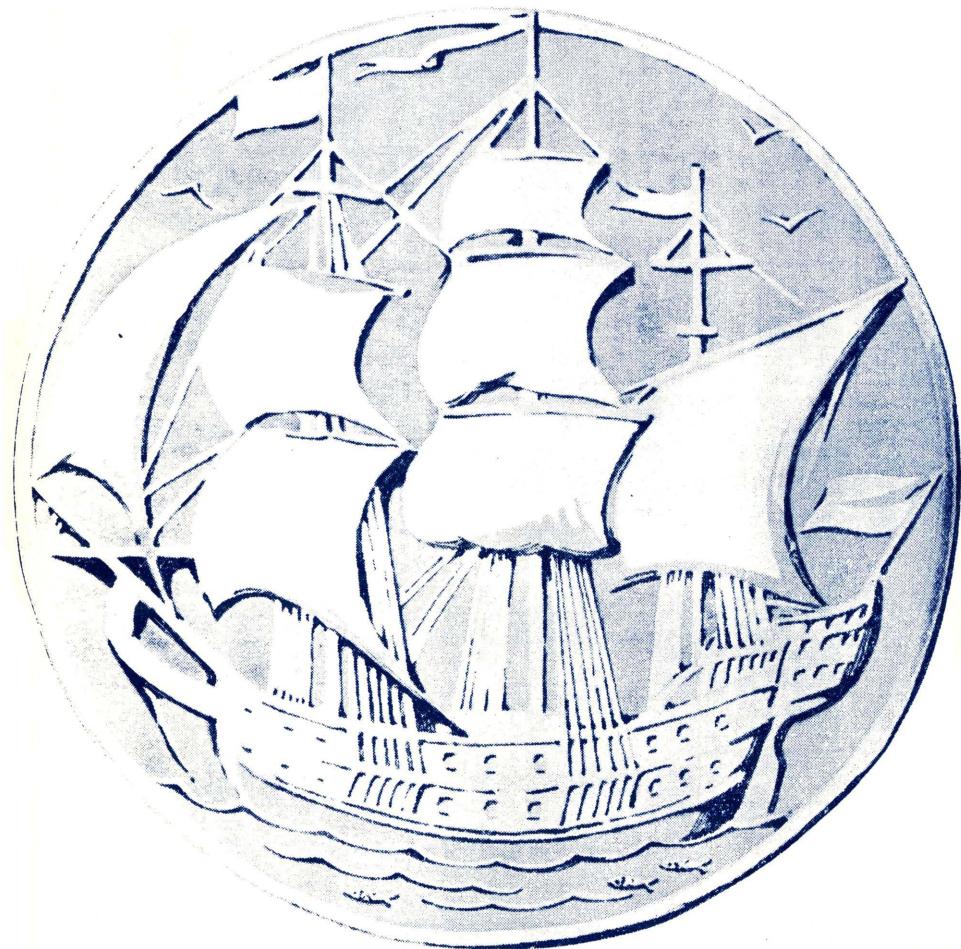


育教の兒幼

號七第 號月七 卷六十三第



東京女子高等師範学校内
日本幼稚園協会

文學士 寺田 精一著

兒童の惡癖

重版!! 菊判洋綴全一冊紙數五百頁
定價金三圓五拾錢送料廿二錢

兒童惡癖の初期診斷と其治療

矯正の實際的研究書!!

教養者が特に注意してゐる問題であるに拘らず、兒童の惡癖はその處遇に關して頗る曖昧な態度が取られてゐるのは、畢竟、惡癖の由つて來る所が複雜であるのと、教育家にその方面的餘裕なき爲で、從つて兒童の生活に對する周密な觀察や、懇切な注意も届かず、往々にして絶望的態度が先入してゐることすら決して稀ではない。本書は教養としてゐることより觀た主なる惡癖を選び、心理學的見地より深く童心に立入つて考察したもので、これ等に最も肝要な條件たる諸原因及び其の性質の何たるかは勿論、癖となる處あるもの、癖となるべき初期の程度にあるもの、判断と、その矯正法を詳述した通俗且實際的な兒童教養書である。各小學校、幼稚園の常備書として、教育家各位の御精讀を望む。

發兌

振替東京市天町三八四二七四七區

中文館書店

東京高等師範学校教授

文學博士 小野島右左雄著

最近心理學概說

本編の會心学者は沙理學、鐵態學、心理學、生物心理學、動物心理學、植物心理學、教育心理學等の體制の心の方法論、生活論理學の成立と新しき哲學の暗示を受け、教師は生徒の最も即事的なる論理と教育の新方針を教へられ、一般人は人間の打開に資する。されどこそ心理學は科學の先駆者である。

上卷 定價三圓二十錢
下卷 定價三圓二十錢
合輯 定價五圓十八錢

刊新

ナーリ式學校衛生評價

菊判洋綴全一冊
定價一圓二十錢

本書は學校衛生施設の評價を研究したもので、全般的に學校衛生の向上を目的とする。更に在學中の得た効果を生涯を通じて保有せしめ、以て真対する強健なと發展のための力説。而して關係官廳に於ける施設は、その衛生の面で自校の衛生施設と各務の改善に力を發揮。學校の長は、別に特別の指針とするべく、定期的な評價を設め、これを定期的に行い、指揮者に於ける評價の標準化に貢献。又兒童の健康増進の面では、その指標として、教育的問題に於ける評價の標準化に貢献。又兒童の健康増進の面では、その指標として、教育的問題に於ける評價の標準化に貢献。

東京高等師範学校

文部省教育研究室

菊判洋綴全一冊
定價一圓二十錢

劣等兒心理と其教育

文部省教育研究室
医学士 青木誠四郎著

菊判洋綴全一冊
定價一圓二十錢

天分を人に問ふたの幸福である。しかし、年少の天分を人に問ふたの幸福である。天賦程其の恵みに不公平の物はない。但し、兒童の天賦は、天賦の最高端の才能兒は全兒童の約2%を占め、猶之れに下位者には、天賦が愚鈍である。それでも増す為により完全なる教育を獲れる爲に、本書

本會夏期講習會

七月二十一日より六日間、文部省主催保育講習が東京女子高等師範學校に於て開催せられますから、
その午後に於て左記講習を催します。

期 日 自七月二十一日 至二十五日(五日間)午後一時より四時まで

場 所 東京女子高等師範學校

講 師

一 幼兒の體育(三時間)

東京女子高等師範學校教授 佐々木 等君

一 幼稚園に適切なる新遊戯(實習)(十二時間)

東京女子高等師範學校助教授 戸倉ハル君

會宿泊費 金貳圓五拾錢 (會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)
本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用一泊金壹圓貳拾錢(一食つき)宿泊料は御入舍の上でお支拂ひ下さい。

宿泊御希望で午前午後兩講習會に御出席の方は、文部省講習員としてお申込み下さい。(なほ敷布は各自御持參を便とします)

聽講、宿泊いづれも七月十五日までに本會講習係宛(東京市小石川區大塚町)

東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會に講習料を添へお申込み下さい。

御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは振替(東京一七二六六 日本幼稚園協會)を御利用下さい。

講習料の受領證にかゝ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附します。

汽車貨物割引(省線、社線共)省線でお通ひの方には講習中毎日割引券を差上げます。

汽船貨物三割引(大阪商船 大連 基隆航路及近海郵船基隆航路)

割引期間 切符購入は七月十一日より八月一日迄

通用期間 乗車券發賣の日より八月十五日迄

遊戯實習の服装は、洋服或は袴着用、靴穿きを嚴守して下さい。

昭和十一年七月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

●入會お申込みの節會員證と鐵道割引券をお送りいたします。縣、市、町番地と御姓名とを
振替口座又は爲替に詳細に明瞭に御記入置き下さい。

新刊

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集

菊版三五〇頁
定價金壹圓五拾錢

郵稅
東京市內 金六錢
地方・北海道
臺灣・樺太 金拾錢
朝鮮・滿洲

さきに發行せられた東京女子高等師範學校附屬幼稚園編『系統的保育案の實際』は非常の歡迎を受け、既に多數の方々により研究せられ又實施せられても居ります。就いてはその中に用ゐてあります談話につき、便宜一まとめにした書物がないかとの御要求が澤山ありますので、此の談話集を編纂發行致しました。右保育案を御使用の方は素より、そうでない方にも、幼稚園談話選集として極めて御便利のものと信じます。右實際御使用のために定價も普通の市價の標準を離れて、出來るだけ廉價にいたしました。本會の趣旨のあるところをお汲み取りいたければ幸です。

版再

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價金壹圓
送料金四錢

一保育案の實際は幼稚園必須の資料

一東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好窓の参考
一待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勧む

發行所

日本幼稚園協會

○定價及郵稅を添へ本會宛直接御註文下さい。

東京市小石川區大塚町卅五番地
東京女子高等師範學校附屬幼稚園
振替 東京一七二六番

第七回 夏季保育講習會

昨年一回休會致しました償ひご非常時に際する幼兒教育に對する徹底的效果を收めて聊か貢獻致したい念願に基き保育の革新を企圖し多く人の手を染めずして併も幼兒に取り重且大なる環境に關する研究。音樂の低下防止と向上。手技の適切なる創作遊戯の革正。を目指して左記の通り講習を開きます。

一期 日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間
二時 間 午前八時より十二時迄 午後一時より五時迄

三

1 幼兒の訓練

(四時間)

保育の中人に人の性格の基礎を作る大切な役目を有する様方は其實施する點に幾多の疑點も生じ從つて其弊も生ずるに至つて六ヶ敷く併し重要なもの先生の懇切にして平易なる此の御講演により皆様は必ず水解せらるゝ事と信じます

2 こごもこ環境 (六時間)

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育養成所講師

山 下 俊 郎 先生

倉 橋 物

三先生

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育養成所講師

倉 橋 物

三先生

先生は環境と教育に關し多年深く研究せられた唯一の權威者です

一 環境の種類とその分け方 (イ)無意識の裡に受くる環境の影響と子供の心に映つた環境—摸倣と暗示 (ロ)その年齢的發達 (ハ)環境の種類とその關係 (イ)家庭の環境 (ア)子どもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響 [社會的地位の問題特に知識階級の問題] (ハ)兄弟の關係から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

二 家庭的環境 (イ)どもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響 [社會的地位の問題特に知識階級の問題] (ハ)兄弟の關係から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

三 弟の關係から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

四 環境としての都會 (イ)刺戟の多面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

五 環境としての田舎 (イ)生活の規則性と固着性 (ロ)田舎兒童の特徴と缺陷

六 貧困兒童の環境 (イ)經濟的貧困と精神的貧困 (ロ)貧困階級の生活の特徴 (ハ)貧困兒童の特徴と缺陷

子供の問題の側から眺めた環境 (イ)問題の子と不良性 (ロ)問題の子と環境の關係

3 音 樂 (六時間)

東京女子高等師範學校教諭兼保母 東京音楽學校教官

武 岡 鶴

代 先 生

常にラジオを通じて全國幼兒の音樂を指導する第一人者です、こどもの歌二十五種の教へ方指導の注意唱ひ方發音の仕方等を實際に指導して下さいます、尙伴奏の付け方も之が歌詞も曲も純粹の幼稚園低學年のものでしかも皆文部省検定済のものですが

尙全部を遊戲に移します、歌曲共に新しきものであります

4 幼兒に適したる手技

(六時間) 東京女子高等師範學校教諭兼保母

幼稚園に適切なる手技の創作は恐らく先生をおいては他に見られません文部省で開かれます手技の外に尙多くの材料を提供し指導して下さいます

及 川 ふみ先生

5(A) 律動的表情遊戯 (十四時間)

東京昭和保姆養成所長

土川五郎先生

理論之部 幼稚園遊戯の低下と混亂時代。草正運動の勃興。歌曲の選擇。振の適否。不合理なる振より来る影響。正しき遊戯としての標準。公平なる批判。

實際之部 文部省検定済の幼稚園に適切なる唱歌然も新しきもの

二十五種を武岡先生に唱ひ方の指導を乞ひ其全部に振付けしたる遊戯の指導と練習を主とす
其外に創作したるものも加ふ

(B) 舞踊の基本練習 (四時間)

舞踊家 石井 漢先生

區分 1、2、4 の三科目を甲之部
3、5 の二科目を乙之部 ごす

定員 各三百名

割引乗車券 五割引往復券

會費を添へてお申込の方へお送りいたします。七月二十日迄にお申込になりませんと間に合ひません
切符購入使用期間は七月十五日より八月十四日迄
市内及近郊から省線でお通ひの方には講習中割引券を差上げます

會場 瑞穂幼稚園 東京品川區大井原町五二〇八

省線大井町驛下車城南バスにて原又は水神前下車一分

甲之部 參圓

乙之部 參圓

兼修 五圓

宿泊 本校寄宿舎を充用 一泊二食金壹圓貳拾錢 前以て申込を要す

主催 東京昭和保姆養成所

責任者 土川五郎

電話 大森二二一〇八
振替 東京六九二一四番
東京品川區大井原町五二〇八
番

保育夏期講習會

(第八回)

本會主催の夏期講習會は毎年皆様の絶大な御援助によりまして回を重ねること早くも八回となりました。そして集まられる會員は遠くは支那、満洲、臺灣等及び内地各府縣よりの御申込年々増加し、昨年の如きは、定員を超過すること百數十名の多きに達しそれがため會場狹隘を來し開會數日前に急ぎ會場變更の餘儀なきに至つた様な次第であります。

就ては本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考ご致しまして理論よりも實際に重きを於いて講師も會員も一つになつてほんとうに和ごやかな氣分で講習會を開きたいと存じます。何卒本年も多數御誘合せの上御入會の程切にお勧めいたします。

昭和十一年七月

主催 佛 教 保 育 協 會

後援 佛 教 各 宗 々 務 所
東京市大塚市民館

会期

要綱

昭和十一年七月二十七日より三十一日まで五日間（毎日午前八時より午後三時まで）

東京市小石川區大塚辻町 東京市大塚市民館

△市電、市バス—大塚辻町下車
線—大塚驛下車 約一丁

講師及科目

保育の實際

（二時間）

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 物 三 氏

幼児の宗教心と保育

（二時間）

立正學園高等女學校長

馬 田 行 啓 氏

女性と信仰

（二時間）

東洋大學教授

關 寬 之 氏

幼児の宗教心と保育

（二時間）

東京女子高等師範學校教授

幼児の宗教心と保育

（二時間）

本會保育養成所監兼教授として佛教保育に立脚せる保育養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御説示されま

本會保育養成所監兼教授として佛教保育に立脚せる保育養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御説示されま

す

唱歌指導並に發聲法（八時間）

毎年講習會に於てその御親切なる御教示に皆様から多大の敬慕を以て迎へられておられます先生が本年も亦出講せられて幼兒に對する唱歌發聲竝に指導法に就て懇切に御教示されます

遊戲指導

（九時間）

最近幼兒の遊戲に研究を積まれ全國各地の講習會に出席せられて皆様におなじみの先生は又平素本會保母養成所の講師として佛教遊戯にも多大の關心を持つておられます前回に二回程出講せられて皆様から非常な期待を以て迎へられました今回又最近振付けられた一般幼兒遊戲讚佛歌遊戲の指導をして頂くことになつております

手技製作指導

（六時間）

幼兒の手技製作に就ては不斷の努力と御研究をなさつておられる先生が最近一ヶ年に考案されました手技製作の新教材について御指導されることになつております

タンドバツハ舞踊研究部長 梁 贊 来 琢 賀 順 田 貞 氏
本會保母養成所講師 ト 部 た み 氏
磨 氏

習料費

貳百名 金貳圓五拾錢也

講習員割

貳百名

金貳圓五拾錢也

申込期日

七月二十日迄（但し定員超過の場合は期日前に切することがあるかも知れません）

宿泊

一泊二食付金臺圓貳拾錢にて會場附近の音羽洋裁女學院寄宿舎をお世話いたします（男子は最寄旅館）

鐵道割引

本講習に參加せらるゝ方に限り全國各地より鐵道旅客運賃往復參割引の特典が與へられます

見學

八月一日東京市内社會事業施設幼兒保育施設の見學を致します

時證問割

講習終了者には修了證書を授與いたします

	八時一九時	九時一十時	十時一十一時	十一時一二時	一二時一三時
開會式	馬	關講師	倉橋講師	ト部講師	同上
講師	梁田講師	同上	梁田講師	賀來講師	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上
講師	同上	同上	同上	同上	同上

詳細御不明の方は左記へ御照合下さい

東京市芝區二本榎町一丁目十五番地 日蓮宗務院社會課內

佛教体育協會夏期講習會事務所

幼兒教育大講習會案内

左記要項に依り講習會を開催いたしますから奮つて御參會下さい。

要項

期日 昭和十一年自八月四日至八月六日三日間

午前八時より
午後四時まで

會場 岡山縣就實高等女學校（岡山市弓之町）

○電車後樂園前下車
西へ一丁知事官舍前

題目及び講師 ○幼兒保育本論（午前）

東京女子高等師範學校教授

倉橋惣三先生

東京女子高等師範學校助教授

戸倉ハル先生

金貳圓

會費

申込

宿泊

注意

七月二十日までに會費を添へ岡山市東田町深祇幼稚園内吉備保育會宛に御申込下さい。講習會費受領證にかへ會員證と鐵道三割引往復乗車券を御送付します。（近郊よりお通りの方は講習中毎日割引券を差し上ます）

希望の方には御便宜をはかります。

遊戯實習にはなるべく輕装（和服のの方は袴をお着け下さい）運動靴の御用意を願ひます。お申込みの節住所（府縣市郡町村番地）と御姓名などを詳細に明瞭に御記入置下さい。振替用紙に依りて御申込みの方は此の申込書は不要です。振替口座廣島一一一七七番 吉備保育會

昭和十一年七月一日

主催 岡山市立保育教育課
吉備保育教育會

文部省
主催

保育講習

(七月六日官報抜萃)

東京女子高等師範學校
自七月二十一日至七月二十六日

幼稚園保姆及幼稚園教育關係者
三百名

講習員定員
科目及講師

一保育案(六時間) 東京女子高等師範學校教授

倉橋惣

一幼稚園二於ケル觀察ノ實際指導(五時間) 東京女子高等師範學校教授

堀七

一幼稚園二於ケル圖畫ノ實際指導(六時間) 東京女子高等師範學校教諭

山形

注意

一講習員ハ一人ニ付約金七十錢ヲ要ス
二講習員ハケレヨン缺糊鉛筆ヲ持參スベシ

一講習員ニシテ該校寄宿舍ニ寄宿ヲ希望スル者ハ七月十五日迄ニ該校寄宿舍宛ニ申出ヅ

ベシ(食事費食ヲ缺ク)舍費ヲ併セ一日ニ付金壹圓貳拾錢ノ割ヲ以テ前納ノコト、尙敷布ハ各自持參ノコト

取扱

上ノ注意受講習員ハ前各項熟覽ノ上學科目、會場、職氏名ヲ具シ地方長官ニ申出ヅベシ

一開設學校ニ於テ定員外ノ講習員ノ受講ヲ許可シ若ハ其ノ選定員中ヨリ其ノ一部ヲ削除シタルトキ其ノ其他ノ者ハ削除ノ通知スルキ限リ受講シ得ルモノト心得ベシ

一講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了ノ證書ヲ授與ス

一講習實習費、印刷費其ノ他雜費ハ當該學科講習員ノ負擔トシ、開會前

倉橋先生に

お話をきくの会

今回別府夏季大學會ニ東京女子高等師範學校教授倉橋惣三先生御出張ノ好機會ヲ得ルニ際シ本會主催ノ下ニ左記ノ通リノ會ヲ開キマス奮ツテ御參會下サイ

昭和十一年八月一日午後一時半ヨリ二日四時マデ

一會期

日

場

一追テ發表

日

場

一要項

日

場

一無會

日

場

一申込者

日

場

一申込者

日

場

一申込期日

日

場

一申込期日

日

場

一申込期日

日

場

大分縣保育會

ニクノモドコ

夏休みの幼稚園は各御家庭！

★先生にはお母さん！
★教材には“モダンヌリエ”！

（愛兒の夏休みの効果は、この一冊で倍加します）

モダンヌリエ

ヌリエの外に、なほ、—

・一冊金五十錢

全國書店
ニアリ・

○繪手本
誰にもやさしく、すぐに描け
る繪手本がなんでも澤山あります。

○漫畫

上品で楽しい教育的な漫畫ばかりが特選、満載されてあります。

社京東・芝・京東
行發ニクノモドコ
番○七五二京東替振

本會夏期講習會

七月二十一日より六日間、文部省主催保育講習が東京女子高等師範學校に於て開催せられますから、
その午後に於て左記講習を催します。

期 日 自七月二十一日 至二十五日(五日間)午後一時より四時まで

場 所 東京女子高等師範學校

講 師

一 幼兒の體育(三時間)

東京女子高等師範學校教授 佐々木 等君

一 幼稚園に適切なる新遊戯(實習)(十二時間)

東京女子高等師範學校助教授 戸倉ハル君

會宿泊費 金貳圓五拾錢 (會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)
本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講

習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用一泊金壹圓貳拾錢(一食つき)宿泊料は御入舍の上でお支拂ひ下さい。

宿泊御希望で午前午後兩講習會に御出席の方は、文部省講習員としてお申込み下さい。(なほ敷布は各自御持參を便とします)

聽講、宿泊いづれも七月十五日までに本會講習係宛(東京市小石川區大塚町)

東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會に講習料を添へお申込み下さい。
御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは

振替(東京一七二六六 日本幼稚園協會)を御利用下さい。

講習料の受領證にかゝ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附します。

汽車貨物割引(省線、社線共)省線でお通ひの方には講習中毎日割引券を差上げます。

汽船貨物三割引(大阪商船 大連 基隆航路及近海郵船基隆航路)

割引期間 切符購入は七月十一日より八月一日迄

通用期間 乗車券發賣の日より八月十五日迄

遊戯實習の服装は、洋服或は袴着用、靴穿きを嚴守して下さい。

昭和十一年七月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

●入會お申込みの節會員證と鐵道割引券をお送りいたします。縣、市、町番地と御姓名とを
振替口座又は爲替に詳細に明瞭に御記入置き下さい。

新刊

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集

菊版三五〇頁
定價金壹圓五拾錢

郵稅
東京市內 金六錢
地方・北海道
臺灣・樺太 金拾錢
朝鮮・滿洲

さきに發行せられた東京女子高等師範學校附屬幼稚園編『系統的保育案の實際』は非常の歡迎を受け、既に多數の方々により研究せられ又實施せられても居ります。就いてはその中に用ゐてあります談話につき、便宜一まとめにした書物がないかとの御要求が澤山ありますので、此の談話集を編纂發行致しました。右保育案を御使用の方は素より、そうでない方にも、幼稚園談話選集として極めて御便利のものと信じます。右實際御使用のために定價も普通の市價の標準を離れて、出來るだけ廉價にいたしました。本會の趣旨のあるところをお汲み取りいたければ幸です。

版再

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價金壹圓
送料金四錢

一保育案の實際は幼稚園必須の資料

一東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好窓の参考
一待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勧む

發行所

日本幼稚園協會

○定價及郵稅を添へ本會宛直接御註文下さい。

東京市小石川區大塚町卅五番地
東京女子高等師範學校附屬幼稚園
振替 東京一七二六番

第七回 夏季保育講習會

昨年一回休會致しました償ひご非常時に際する幼兒教育に對する徹底的效果を收めて聊か貢獻致したい念願に基き保育の革新を企圖し多く人の手を染めずして併も幼兒に取り重且大なる環境に關する研究。音樂の低下防止と向上。手技の適切なる創作遊戯の革正。を目指して左記の通り講習を開きます。

一期 日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間
二時 間 午前八時より十二時迄 午後一時より五時迄

三

1 幼兒の訓練

(四時間)

保育の中人に人の性格の基礎を作る大切な役目を有する様方は其實施する點に幾多の疑點も生じ從つて其弊も生ずるに至つて六ヶ敷く併し重要なもの先生の懇切にして平易なる此の御講演により皆様は必ず水解せらるゝ事と信じます

2 こごもこ環境 (六時間)

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育養成所講師

山 下 俊 郎 先生

倉 橋 物

三先生

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育養成所講師

倉 橋 物

三先生

先生は環境と教育に關し多年深く研究せられた唯一の權威者です

一 環境の種類とその分け方 (イ)無意識の裡に受くる環境の影響と子供の心に映つた環境—摸倣と暗示 (ロ)その年齢的發達 (ハ)環境の種類とその關係 (イ)家庭の環境 (ア)子どもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響 [社會的地位の問題特に知識階級の問題] (ハ)兄弟の關係から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

二 家庭的環境 (イ)どもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

三 弟の關係から来るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響 (ホ)一面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

四 環境としての都會 (イ)刺戟の多面性から来るもの (ロ)一面性から来るもの (ハ)都會の子どもの特徴と缺陷

五 環境としての田舎 (イ)生活の規則性と固着性 (ロ)田舎兒童の特徴と缺陷

六 貧困兒童の環境 (イ)經濟的貧困と精神的貧困 (ロ)貧困階級の生活の特徴 (ハ)貧困兒童の特徴と缺陷

子供の問題の側から眺めた環境 (イ)問題の子と不良性 (ロ)問題の子と環境の關係

3 音 樂 (六時間)

東京女子高等師範學校教諭兼保母 東京音楽學校教官

武 岡 鶴

代 先 生

常にラジオを通じて全國幼兒の音樂を指導する第一人者です、こどもの歌二十五種の教へ方指導の注意唱ひ方發音の仕方等を實際に指導して下さいます、尙伴奏の付け方も之が歌詞も曲も純粹の幼稚園低學年のものですしかも皆文部省検定済のものですが

尙全部を遊戲に移します、歌曲共に新しきものであります

4 幼兒に適したる手技

(六時間)

及 川 ふみ先生

幼稚園に適切なる手技の創作は恐らく先生をおいては他に見られません文部省で開かれます手技の外に尙多くの材料を提供し指導して下さいます

5(A) 律動的表情遊戯 (十四時間)

東京昭和保姆養成所長

土川五郎先生

理論之部 幼稚園遊戯の低下と混亂時代。草正運動の勃興。歌曲の選擇。振の適否。不合理なる振より来る影響。正しき遊戯としての標準。公平なる批判。

實際之部 文部省検定済の幼稚園に適切なる唱歌然も新しきもの

二十五種を武岡先生に唱ひ方の指導を乞ひ其全部に振付けしたる遊戯の指導と練習を主とす
其外に創作したるものも加ふ

(B) 舞踊の基本練習 (四時間)

舞踊家 石井 漢先生

四 区分1、2、4の三科目を甲之部

3、5の二科目を乙之部

五六七 定員 各三百名

割引乗車券 五割引往復券

会費を添へてお申込の方へお送りいたします 七月二十日迄にお申込になりませんと間に合ひません
切符購入使用期間は七月十五日より八月十四日迄
市内及近郊から省線でお通ひの方には講習中割引券を差上げます

八 九 会場 瑞穂幼稚園 東京品川區大井原町五二〇八

省線大井町驛下車城南バスにて原又は水神前下車一分

八 九 會費 甲之部 參圓 乙之部 參圓 兼修 五圓

宿泊 本校寄宿舎を充用 一泊二食金壹圓貳拾錢 前以て申込を要す

主催 東京昭和保姆養成所

責任者 土川五郎

電話 東京品川區大井原町五二〇八
振替 東京六九二一四番

保育夏期講習會

(第八回)

本會主催の夏期講習會は毎年皆様の絶大な御援助によりまして回を重ねること早くも八回となりました。そして集まられる會員は遠くは支那、満洲、臺灣等及び内地各府縣よりの御申込年々増加し、昨年の如きは、定員を超過すること百數十名の多きに達しそれがため會場狹隘を來し開會數日前に急ぎ會場變更の餘儀なきに至つた様な次第であります。

就ては本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考ご致しまして理論よりも實際に重きを於いて講師も會員も一つになつてほんとうに和ごやかな氣分で講習會を開きたいと存じます。何卒本年も多數御誘合せの上御入會の程切にお勧めいたします。

昭和十一年七月

主催 佛 教 保 育 協 會

後援 佛 教 各 宗 々 務 所
東京市大塚市民館

会期

要綱

昭和十一年七月二十七日より三十一日まで五日間（毎日午前八時より午後三時まで）

東京市小石川區大塚辻町 東京市大塚市民館

△市電、市バス—大塚辻町下車
線—大塚驛下車 約一丁

講師及科目

保育の實際

（二時間）

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 物 三 氏

幼児の宗教心と保育

（二時間）

立正學園高等女學校長

馬 田 行 啓 氏

女性と信仰

（二時間）

東洋大學教授

關 寬 之 氏

幼児の宗教心と保育

（二時間）

東京女子高等師範學校教授

幼児の宗教心と保育

（二時間）

本會保育養成所監兼教授として佛教保育に立脚せる保育養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御説示されま

本會保育養成所監兼教授として佛教保育に立脚せる保育養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御説示されま

す

唱歌指導並に發聲法（八時間）

毎年講習會に於てその御親切なる御教示に皆様から多大の敬慕を以て迎へられておられます。先生が本年も亦出講せられて幼兒に對する唱歌發聲竝に指導法に就て懇切に御教示されます。

遊戲指導

（九時間）

最近幼兒の遊戲に研究を積まれ全國各地の講習會に出席せられて皆様におなじみの先生は又平素本會保母養成所の講師として佛教遊戯にも多大の關心を持つておられます。前回に二回程出講せられて皆様から非常な期待を以て迎へられました。今回又最近振付けられた一般幼兒遊戲讚佛歌遊戲の指導をして頂くことになつております。

手技製作指導

（六時間）

幼兒の手技製作に就ては不斷的努力と御研究をなさつておられる先生が最近一ヶ年に考案されました。手技製作の新教材について御指導されることになつております。

東京音樂學校講師 梁 贺 来 琢 賀 駒 田 貞 氏

タンダバツハ舞踊研究部長 東京音樂學校講師 梁 贺 来 琢 賀 駒 田 貞 氏

習料費

貳百名 金貳圓五拾錢也

講習員

東京市芝區二本榎町日蓮宗務院社會課内

佛教保育協會夏期講習會事務所

八月一日東京市内社會事業施設幼兒保育施設の見學を致します

ト 部 た み 氏

申込期日

七月二十日迄（但し定員超過の場合は期日前に切することがあるかも知れません）

宿泊

一泊二食付金臺圓貳拾錢にて會場附近の音羽洋裁女學院寄宿舎をお世話いたします（男子

鐵道割引

本講習に參加せらるゝ方に限り全國各地より鐵道旅客運賃往復參割引の特典が與へられま

見學

す

時證問割

八月一日東京市内社會事業施設幼兒保育施設の見學を致します

	八時	九時	十時	十一時	十二時	一時	二時	三時
三十日	開會式	關講師	上	ト部講師	同	同	同	上
三十一日	梁田講師	同	倉橋講師	上	梁田講師	同	同	上
ト部講師	上	上	上	上	上	上	上	上
梁田講師	同	同	同	同	同	同	同	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上
上	賀來講師	同	同	同	同	同	同	上
上	賀來講師	同	同	同	同	同	同	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上

詳細御不明の方は左記へ御照合下さい

東京市芝區二本榎町一丁目十五番地

日蓮宗務院社會課内

佛教休育協會夏期講習會事務所

幼兒教育大講習會案内

左記要項に依り講習會を開催いたしますから奮つて御參會下さい。

要項

期日 昭和十一年自八月四日至八月六日三日間

午前八時より
午後四時まで

會場 岡山縣就實高等女學校（岡山市弓之町）

○電車後樂園前下車
西へ一丁知事官舍前

題目及び講師 ○幼兒保育本論（午前）

東京女子高等師範學校教授

倉橋惣三先生

東京女子高等師範學校助教授

戸倉ハル先生

金貳圓

會費

申込

宿泊

注意

七月二十日までに會費を添へ岡山市東田町深祇幼稚園内吉備保育會宛に御申込下さい。講習會費受領證にかへ會員證と鐵道三割引往復乗車券を御送付します。（近郊よりお通りの方は講習中毎日割引券を差し上ます）

希望の方には御便宜をはかります。

遊戯實習にはなるべく輕装（和服のの方は袴をお着け下さい）運動靴の御用意を願ひます。お申込みの節住所（府縣市郡町村番地）と御姓名などを詳細に明瞭に御記入置下さい。振替用紙に依りて御申込みの方は此の申込書は不要です。振替口座廣島一一一七七番 吉備保育會

昭和十一年七月一日

主催 岡山市立保育教育課
吉備保育教育會

文部省
主催

保育講習

(七月六日官報抜萃)

東京女子高等師範學校
自七月二十一日至七月二十六日

幼稚園保姆及幼稚園教育關係者
三百名

講習員定員
科目及講師

一保育案(六時間) 東京女子高等師範學校教授

倉橋惣

一幼稚園二於ケル觀察ノ實際指導(五時間) 東京女子高等師範學校教授

堀七

一幼稚園二於ケル圖畫ノ實際指導(六時間) 東京女子高等師範學校教諭

山形三

注意

一講習員ハ一人ニ付約金七十錢ヲ要ス
二講習員ハケレヨン缺糊鉛筆ヲ持參スベシ

一講習員ニシテ該校寄宿舍ニ寄宿ヲ希望スル者ハ七月十五日迄ニ該校寄宿舍宛ニ申出ヅ

ベシ(食事費食ヲ缺ク)舍費ヲ併セ一日ニ付金壹圓貳拾錢ノ割合ヲ以テ前納ノコト、尙敷

布ハ各自持參ノコト、

上ノ注意受講希望者ハ前各項熟覽ノ上學科目、會場、職氏名ヲ具シ地方長官ニ申出ヅベシ

一開設學校ニ於テ定員外ノ講習員ノ受講ヲ許可シ若ハ其ノ選定員中ヨリ其ノ一部ヲ削除

一シタルトキ其ノ他ノ者ハ削除ノ通知スルキ限リ受講シ得ルモノト心得ベシ

一講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了證書ヲ授與ス

一講習實習費、印刷費其ノ他雜費ハ當該學科講習員ノ負擔トシ、

一開會前

一開設學校ヨリ其ノ旨地方長官ニ通知スル定員外講習員ハ許可ヲ受ケタル

一講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了證書ヲ授與ス

一講習實習費、印刷費其ノ他雜費ハ當該學科講習員ノ負擔トシ、

一開會前

倉橋先生に
お話をきくの会

今回別府夏季大學會ニ東京女子高等師範學校教授倉橋惣先生御出張ノ好機會ヲ得ルニ際シ本

主催ノ下ニ左記ノ通リノ會

開キマス奮ツテ御參會下サイ

一期昭和十一年八月一日午後一時

半ヨリ二日四時マデ

一會場

追テ發表ス

一要項

會員ハ隨意ニ質疑ヲ提出シテ

一會下サイ

一要員

幼兒教育關係者ニ限ル

一無會

一申込者

住所、園名、職名、氏名ヲ明

一記ノコト

一申込期日

來ル七月三十日マデ大分市大

分幼稚園内大分縣保育會宛御申込下サイ

大分縣保育會

昭和十一年七月

ニクノモドコ

夏休みの幼稚園は各御家庭！

★先生にはお母さん！
★教材には“モダンヌリエ”！

（愛兒の夏休みの効果は、この一冊で倍加します）

モダンヌリエ

ヌリエの外に、なほ、—

・一冊金五十錢

全國書店
ニアリ・

○繪手本
誰にもやさしく、すぐに描け
る繪手本がなんでも澤山あります。

○漫畫

上品で楽しい教育的な漫畫ばかりが特選、満載されてあります。

社京東・芝・京東
行發ニクノモドコ
番〇七五二京東替振



第十七號 幼兒の教育 卷六十三

—(次) 目—

口 繪

卷頭(七月) 倉橋惣三(一)

幼兒の社會性陶冶の問題 白根孝之(二)

「舌切雀」の展開(二) 小池藤五郎(二〇)

日本產小淡水魚の觀賞とその飼ひ方 清水良雄(二七)

兒童心理學文獻抄(十九) 牛島義友(三)

童話石屋さん 山本ゆき子(三)

遊びの場に於ける子供の氣持(承前) 西田希雄(三)

系統的保育案の實際解説 (三)

生活訓練 倉橋惣三

誘導保育 菊池ふじの

唱歌遊戲 小村島上露子

談話 新庄よしこ

觀察 小島光子

手技 及川ふみ

安倍季雄著豫約募集申込期限は七月

内容見本贈呈

一冊金一圓

第一回發行
豫約申込者
にのみ配本
申込金なし
送料十三錢
市内不要

四六判五號活字かな付二百四五
十頁内外口繪三色版美裝上製本
全十冊分前金拾圓御送金の方は
全卷の送料不要
毎月一冊づゝ發行（但し八月休）



日本精神を全日本の家庭に植付ける爲に
お父様にも、お母様にも、お子さんにもお薦めする

大好評の名著!!

安倍季雄君を推稱する所以は、實に同君が博識達文の士であり、童話の名人である許りではなく、實に其の人格を敬仰するからである。君は溫厚なる紳士であり、穩健なる思想家であり、明朗高潔なる人格者である。

而かも余が特に君を推稱する所以は、熱烈燃ゆるが如き日本精神の鼓吹者であるからである。始めて君の温顔に接した時、一度其の名文を讀んだ折更に其の流麗なる高話を耳にした際、春風の和氣は、一轉再轉、感慨淋漓、落涙滂沱たるものがある。之は全く君の人格と至情の致す所といはねばならぬ。君這回、既作新作の名篇を特選して、「子寶文庫と名づけ、廣く江湖にとふと聞く、思想混亂甚しき現時、「修養は幼時より」の點より見て、最も機宜に適せるも

の、誠に斯の人にして斯の舉の感なくんば非ず、邦家の爲、青少年の爲、更に世の父兄各位の爲、近來の快挙として推稱已まさる次第である。

村岡花子

安倍季雄氏の傑作童話集「子寶文庫」が十冊も出るといふことをお聞きして嬉しさに堪へません。

安倍さんの童話の持味はどの話の中にも躍つてゐる指導精神です。はつきりとした正義觀と燃えに燃える愛國精神が盛り込まれてゐる氏の作品は、我が國現在の少國民の心の糧として實に申分のないものだと思ひます。

内館會育教・橋ツ一田神京東
社育教の家
番五一四(表代)段九話電替振
番五六九五七京東



或
る
に
時

幼児の教育

昭和一十年七月

七月

都會の子さもに氣の毒な夏が來た。田舎の子さもが、あゝもふんだんに樂んでゐる綠の野も、清い小川の流れも、遠くわざ／＼連れて出て貰はなければ見るこゝさへ出來ない。蟬ざり、蜻蛉つり、小魚がり、日高すくひ。子さものために與へられてゐるやうな夏の戸外の遊びも、電車と自動車の町に求められやうもない。アスファルトに熱せられ、コンクリートに蒸されて、自然の香りと爽かさを全く失つてゐる風が、魔ものゝ吐くいきでもあるやうに、子さもらの顔を、ねつこりと氣味わるく撫でる。

その一劃を仕切つて、特に子さものための園としてゐる都會の幼稚園である。先づ何よりも取り入れたいものは田舎の夏の自然味だ。春よりも、秋よりも、冬よりも、一層の苦心が夏の都會の幼稚園にあるのも、この氣の毒さから、せめて少しでも、子さもを救つてやりたいと思へばこそに外ならない。

幼兒の社會性陶冶の問題

白 根 孝 之

我々は、二人以上の人間の何等かの共通意識の下に於ける共存をもつて、一先づ廣義の「社會」に定義する「」が出来る。この共存は必ずしも空間的なるを必要とせず、例へば、世界に散在する成員から成る學會の如きも立派な社會であり、更に「全人類」も亦一つの社會であるが、普通のそして實踐的に重要な種々の問題を孕む社會といふのは、何等かの具體性をもつた人々の團體である。かくの如き意味の社會としてすべての人間が最初に經驗するのは家庭である。家庭の次に多くの人間が知るのは所謂「遊び友達」であるが、それは我々の關係する「幼稚園」なる社會に比して、規模に於いて、連續性に於いて、而して特に社會性の最重要契機たる共通意識の強制性の點に於いて遙かに低次の社會である。幼稚園は子供がその狹い家族社會を出て未見の仲間に交はり、そこから生じる様々の未知の體驗に踏み入らねばならない最初の社會である。従つて彼等の「」の社會的體驗を援け、或は指導する、「」は、幼稚園教育の重要な問題の一つである。最近の「教育心理學及び兒童學」誌上に於いて、「ヒルデガルト・ヘッサー」「ゲルトルード・ノエル」の一人が發表した「幼稚園共同社會に於ける各性質の子供の機能」(Hildegard Hetzer und Gertrud Noelle; Die Funktion verschiedengarteter Kinder in der Kindergartengemeinschaft— im "Zeitschrift für pädagogische Psychologie und Jugendkunde" 1. 37 Jahrg.- 1936) なる一文は、「」の問題に就いて参考にならう考へられたか、その概要を紹介する。

先づこの論文の筆者は社會性と幼兒の關係に就いて次のように言つてゐる。

幼稚園も一つの社會であるが、すべての社會はそれを構成する成員によつて存續する。而して成員が如何なる特質をもつかは、直ちに社會そのものに大きな影響を及ぼす問題である。なぜなら個人の特性は彼等が社會内に於いて演じる役割り若しくは機能を規定するからである。そして彼等がその社會へ何を寄與するか、又、社會が彼等から何を要求するかは、この彼等の役割りによつて決定されるからである。反対に個人が社會に寄與するものがさの程度に役立つかは、その社會の特性によつて決定される。社會は個人によつて支持されると共に、又個人を支持するといふ相互關係に立つ。

社會生活が維持・發展するためには、各々特質を異にした個人を結合してそこに一つの社會的な力が生れる。而してこの力は成員の異なるにつれて各社會によつて一様であり得ない。そこで一幼兒の幼稚園共同社會に對する價値は、その子供自身の特性によつて決るばかりでなく、又幼稚園共同社會が如何なる特性を具へてゐるかによつても規定される。同様な性質を備へた個人が齊しく皆歡迎され、或は反対に斥けられるやうな社會はむしろ例外的であつて、一般的の場合として考へることには出來ない。社會的な性質をもつた子供でも、その屬する社會の如何によつては却つて反社會的な影響を及ぼすことがあるし、反社會的な傾向の子供でも事情によつては社會の一員として全體社會に却つて促進的な役割りを演じるものである。

共同社會内にはたらく諸々の異つた力の相互關係は、實にその社會の優劣良否を決定するものであつて、子供の教育上重大な意義をもつものであることは、全ての教師の熟知する所である。而してこの關係は構造の僅かの變化によつても鋭敏に影響される。一人の子供の存否によつても共同社會の均衡はゆらぐ。然もそれは單に活動的積極的な子供に限らず、おこなしい受動的な子供に就いても言はれるこことである。而してこの社會に於ける均衡の變化は即ちその社會の教育的感

化力の變化を意味する。故に社會關係の均衡を正しく保つことは、その社會にいつても子供にいつても亦教育者の仕事の達成の上にも極めて重大な意義をもつことはある。

いかなる條件が満たされるなら好ましい社會關係が現出するが、いかなる場合に反對の結果になるかといふその間の一定の規則性が發見されるなら、それは幼稚園といふ教育的共同社會の構成組織の上に根本的な立場を與へるものであり、實際上のいろいろの問題もこれによつて解決する事が出来る。併しこの規則性を見出すには、何よりも先づ一定の教育社會そのものゝ要求を深く理解せねばならない。この規則性が明らかにされるなら、如何なる特質をもつた子供が共同社會の中で如何なる役目を演じるのか、子供は如何なる場合に如何なる程度に教育作業に貢獻するか、教育の効果を大ならしめるにはその共同社會は如何にあるべきであるか等の問題も亦自づき明らかになるであらう。

特にこの問題は社會性にひざく缺けてゐる子供を扱ふ場合に重大である。世には社交的でない調和性に缺く子供があるものであるが、彼等はそれが故に直ちに價値のない子供として評價されはならない。彼等といへども共同社會に於ける生活の指導如何によつては、立派にその非社會性を矯める事が出来る。然ならばいかにしたら、而していかなる程度にまでこの指導は可能であるかといふのが問題である。彼等が社會を相容れないといふことは、社會の不幸であるばかりでなく、又彼等自身の大きな不幸である。この種の子供の社會性の陶冶には又自から別途の方法が講ぜられねばならないであらう」。

以上のやうな動機からノエレ、ヘツツァーの一氏は四年間にわたつて幼稚園の各年齢の子供を仔細に觀察して、次のやうないろ／＼の結論に達したのであつた。因にドイツの幼稚園は、既に曾つての本誌上で紹介した通り、満二歳から満六

歳までの幼児を収容する。

兩氏が協同の觀察の結果明らかにせんとした問題は次の諸點である。

(1) 二歳から六歳までの幼稚園児は、その社會性に於いて如何なる類型に分れるか。共同社會から何を要求し期待し且つ共同社會に對して何を寄與するか。

(2) 共同社會の運用を濶測たらしめ、その有する各種の教育的機能を圓滿に發揮せしめるには、各類型の子供をいかに配したらよいか。

(3) 幼児の仲間を教育上最善の狀態に保持するには如何なる條件が具はらねばならないか。

(4) 社會性に缺けた若しくはその不完全な子供を、社會そのものを損することなく社會性にまで教育することは果して、どの程度にまで可能であるか。

二 幼児の社會性の類型とその教育的意義

ノエレ、ヘッツァーの二氏の注意深い意企的な觀察によれば、二歳乃至六歳までの幼稚園児が社會に對してなす要求、及び社會へ與へる貢獻の性質に應じて、その社會性は次の六つの類型に區別される。而してこの類型の異なるにつれて又、彼等が成人——教育者に對しても期待・要求もそれぐに異なる。従つてこの類型は幼児の保育上極めて重要な意義をもつものである。特に幼稚園の時代は小學校の年代とは異つて、教師は専ら指導者の扶助者としての立場に立つべき時期にある。

(1) 從順にして秩序と規律に服し、教師の何等の助けをも必要としない子供

この類型に屬する子供は素質の健全なよい子供で、一定の獨立性に達してゐて自分のことを自分で處理するが、然も社會との調和を許さない程に自守的ではない。幼稚園に入つたばかりの満二乃至三歳の子供はまだこの程度には達しないのが普通である。一二年を経て漸次にこの段階に到るのである。この類型の子供に對しては、賢明な教師がたゞ傍に居て、彼等に好ましい生活環境を與へてやるだけに十分である。彼等がその環境の事情に完全に處し得ない場合にのみ教師の助けを必要とする。直接的の教育的干涉は彼等に對してはむしろ例外的である。もとより彼等は猶ほ教師にすがる。併しそれは教師が常に傍にあつて、彼等に注意を拂つてゐるといつた風ではない。自分達の仕事や遊びの仲間に教師を呼び入れることはあるが、それは教師の助けを借りるためではなく、仕事を見てもらひ、その成果を一緒に喜んでもらひたい爲めである。彼等は何らの磨摩なく共同社會に適合することが出來、幼稚園の掟と限界とに従ふことが出来る。従つて刑罰とかその他の強制的訓育手段を要しない。彼等は他の仲間に對して自分を護るすべは心得てゐるが、又進んで仲間を扶ける用意も充分にもつてゐる。教師の指導に對してこやかくの要求を持ち出すが如きことはない。この類型の子供の特徴としては、その場に彼等が居る時には別して注意を惹かないが、若し缺席したり其他何かの事情で居なくなると、著しく淋しく感ぜられるといふことが考へられる。

(2) 充分の獨立自守性に基いた社會の實現に耐える類型。

この類型に屬する子供はその自主性と社會性との調和のために教師の活動を必要とする。この類型は殆んど例外なく五乃至六歳の最上學級に進んだ子供に於てのみ見られる。第一の類型に屬した者のうち、積極的な能力をもつた子供がこの部屬に進むのである。自守性の上に立つた社會性の保有者はもとより心身共に健全な子供であり、その強い自守的 requirement の故に、小さい子供には必要で且つ喜ばれる教師の干涉や世話や幼稚園の束縛を斥ける。幼稚園といふ生活環境は彼等に

つては何の點から云つても険隘に過ぎる。遊び仲間でももつて手應へのあるのを多人數必要とするし、仕事にしても、遊戯の場所にして、幼稚園が與へるものでは満足出来ない。こゝからして彼等に之つても亦共同社會全體に之つても、考ふべき色々の問題と困難とが起つて来る。この抗争を除くために彼等に之つては教師が必要である。教師は彼等のために常により大きな活動の餘地より多くの自由とを與へてやることに注意せねばならない。なぜなら彼等はまだ自分ではその機會を正しく判断することが出来ず、正しからぬ場合に生活領域の擴大を求めるならそこに何らかの軋轢が生じる危険がある。仕事にあたつては彼等は教師の直接の干與と助けとを喜ばないが、技術上・内容上の忠告や指導は必要である。盛にかうした質問も發する。自己主張に急にして全體の秩序を破るおそれのある場合には、刑罰その他の直接的干涉をも必要とする。この類型群の特徴としては、女兒は殆んどこの型は見られないといふことである。全體の秩序から自由ならんとする傾向は女兒に於いては徐々にそして力弱く現はれる。團體の指導者はかうした型の中から出るのが常である。

(3) 自己貫徹の能力に缺け、教師の不斷の注意を必要とする類型。

この型の子供は一般に言つて極めて感受性に富んだ子供で、社會と自分とを對立させて考へこれに順應して行くといふやうなことを厭はしいと考へ、若しくはそう努めて見て何か面白くない経験に行きあたるとすつかり團體生活に嫌氣を覺えて來るといふ傾向がある。仲間から犯されるに敢然と之に反抗して自分を護ることをせず、すぐに引下つて失ふ。併しそうかと云つて仲間の弄びものになるやうな侏儒的な不甲斐ないので決してない。遊戯などをやつてゐるのを見れば他の子供に比して極めて生産的内容であつて、豊かな想像力を所有し、その内生活はいかにも旺盛發達としてゐるのが常である。彼等は大抵輕度の神經質の子供で、この點常に細かい注意と配慮とを加へてやらねばならない。同年配の仲間はこの類型の子供に必要な愛と忍耐とをもつて接してやるだけのゆとりがない。又それを望むのは無理である。然も彼等は知

的能力に於いては概して他の子供に秀れてゐるため、教師は特に保護し注意する必要はないむしろそれは滑稽であることを考へ易いものである。それ故に教師はかうした類型の子には特に注意して不斷に細心の配慮を加へ、遊具を他の子供が奪ふといふやうなことのないやう、他の子供との接觸ぶりに常に氣をつけてやらねばならない。

この自己貢献の力の弱い子供は反面に於いて教師の方へ強く結びついて来る。彼等は一手一投足に教師の方をうかゞひ、その指示に従ひ、不斷に教師の注意を浴びてゐることを願ふのである。だから教師も温かい手を之に差しのべてやつて細かく注意してゐることが大切だが、この結合の紐をいつかは断ち切つて彼等に一人歩きの出来るやう指導することが肝要である。何時その紐を絶ち切るか問題である。第一乃至は第二の類型群に入れることが教師の目的でなくてはならない。

要するに教師との特に緊密な結びつきといふことがこの類型の子供の一つの特徴であつて、この點を誤つたなら彼等幼稚園共同生活は幾多の困難に相續かれるであらう。孤児や或は反対に甘やかされて育つた良家の子供にこの類型は多い。

(4) 獨立性に乏しく不斷に教師の鼓舞を必要とする類型。

この類型に屬する子供は理知的な素質が低く、動作が遲鈍で所謂できの悪い子供である。併し共同社會生活を積極的に阻害し若しくは破壊するといふのではない。自分から求めて又は進んで何かを行ふいふのではなく、外部からの刺戟を待つて之に鈍く反應する、概してお人好しで意志が弱く社會の秩序や規律には敢へて反抗するが如き、なく従順に従ふ。他人から要求されることに易々として應じるから、他人からはむしろ愛されるが、尊敬はされない。時としては侏儒扱ひされて氣がつかないことがあるといつた風である。教師はこの種の子供には常に鼓舞と刺戟とを與へて、他の仲間の加へる侮辱から護つてやるやうにせねばならない。この類型の子供も亦教師に頼り常に之に結びつくが、その結合は第三の類型の子供ほどに緊密ではない。

(5) 常に教師の干渉を必要とする非社會的な子供。

不良兒型を帶びた反抗的な子供、社會性妥協性の非常に少い孤立的な子供、精神的に偏狭な狷介な子供、利己主義的な子供がこの一群に屬する。社會の要求に故意に反抗するこいふのではないが、非常に騒々しく落著きがなくて全體の迷惑となるやうな子供も亦これに屬する。今迄のべた型の子供は皆何らかの長所を具へてゐた。自己貫徹の能力に缺く子供も教師がなくとも幼稚園の共同社會生活は結構營み得るし、無力の子供も團體生活の支障にはならなかつたが、この類型の子供は共同社會の異端的分子であつて、教師の絶えざる干渉・強制的指導を必要とする。彼等は幼稚園の規則に反抗し、要求を斥け、いつも他の人間と衝突する。刑罰も時として必要であるが、根本に於いては人に懐くやう温かい心をもつて取扱つてやることがやはり大切である。

(6) 心身共に虛弱で常に教師の保護と注意を要する類型の子供。

これには幼稚園に入つたばかりの二歳乃至三歳の幼兒即ち年齢の行かない爲に當然保護を必要とするものと、年齢は行つてゐても心身の發達が著しく後れたものとがある。いつも不不斷の注意と保護と援助を必要とするが、非社會的反社會的といふおそれはない。彼等には未だ積極的に自分の感情を他に押しつけることがないため、親切にしてくれる人には誰にでも従ふ。併し仲間から弄びのにされる危険は十分にある。支配欲の旺盛な連中は彼等を自分の力の対象とする。そこで教師は常に注意して彼等を保護援助し、他の子供から奪はれ勝ちな自由を確保してやらねばならない。彼等がまだ十分にそれに堪えないやうな社會規則や束縛からは免除してやるやう、特別に例外を作つてやることが大切である。要するにこの類型の子供は動作・遊戯・食事・作業の全てに於いて教師の力添へを必要とする。

猶ほ身體上に何らかの缺陷があつて他の子供に伍して行けないやうな子供もこの部類に屬すべきであらう。この類の氣

の毒な子供の爲めには特殊の幼稚園が諸方にあるし、又あることが望ましいが、それも出來ぬ事情にある所では特別の保護を加へてやる必要がある。

要するに、幼児の社會性には大體に於いて右に述べたやうな六つの類型があり、それは子供の年齢、素質、及び彼等が入園までの家庭教育・環境によつて規定される。そこから家庭教育に關しても幾多考ふべき問題が生じて来るが、今はその點には深く入らず、園に於いてそこから起つて来る一二三の重要な問題に就いて考へて見たい。

三 各類型の子供が社會に對してもつ要求と寄與

個々の子供が共同社會に對して何を與へるか、又求めるか、社會の運營を促進し或は阻害するのはどの種類の子供でいがなる場合であるか等の問題については、以上の敍述で或る點まで觸れて來たが、猶ほ各々の型に就いてこの問題を更に詳しく述べてみよう。

第一の從順にして秩序規律に服し教師の何等特別の干渉を要しない類型の子供は、共同社會の運用に寄與する最も優秀な分子で、之を阻害することはない。彼等はいかなる状態の下にあつても社會のためにになり、之を豊かにし、例外なく歓迎される。生氣ある社會の支那人である。

第二類型——即ち獨立自主性に基いた社會性の子供は、彼等を遊び相手相談相手に選ぶ。第三類型——自己貴徵の元氣がないが敏感な素質をもつた子供ともよく合ふ。即ち彼等はその靜かな性格をよく理解してやり、特に秀でゝる想像力のはたらきに參與してよき遊び相手となつてやることが出来る。第四の類型——獨立性に乏しい溫和しい子供に對してはその最も必要な鞭撻者鼓舞者となつてやる。第五の最も度し難い反社會的の類型とも、彼等はひゞく衝突することなく圓

滑に交つて行くことが出来る。第六の援助と保護を要する類型の子供に至つても亦彼等はよき援護者であり保護者であることが出来る。

第一類型の子供は多人数からなる群團の統率者指導者たるに適する。彼等は仲間の子供を自分の周りに集め、彼等の行動の先頭に立つことが出来る。彼等は同類型の數があまりに多くなく、その力が擾亂的な程大きくなく、又自分を助け自分が満足さす協力者がゐる間は、共同社會の大いな原動力、促進者である。併し彼等は同類型の子供とは衝突し易いし、その生活範圍があまりに狭隘となり、或は又彼等に追随する仲間がなくなる時は、促進力が強いだけに社會の阻害者としても大きな役割を演ずる結果になる。第一、第四の類型の子供は彼等を歓迎する。第三の類型の子供は教師への結合を求める一方、彼等をばむしろ輕蔑して斥ける。第五の型はしばしく衝突する。第七の類型の子供は彼等には絶対に服従するから、又彼等から愛される。

第三の自己貫徹の力を缺く敏感な子供は比較的他の類型との交渉が稀薄なのが普通である。第一類型とは最もよく合ふ仲である。第四の類型に對しては彼等は比較的に多くを與へる積極的な關係に立つ。共同社會内に於ける彼等の役割りは大きな反対的な勢力に對する安全瓣的な緩和剤たる點に於いて、案外に大きなものがある。第五の反社會的な類型に對しては、感じ易い敏感な神經とやさしい想像力にすぐれたこの型の子供は、最も深い内面的な嫌惡を示す。それだけに第六の保護と援助を要する類型に對しては温かい同情と保護の手を差しのべてやる。

第四の獨立性に缺けた溫和しい類型の子供は、共同生活を割合に圓滑に營むことが出来、その人の好さは多くのものから愛される。第一、第二の類型の者からはよく仲間として利用され、彼等が必要な限りは大いに歓迎されるが、餘りに重きはおかれない。第三の子供からは上にも述べたやうに時に大いに同情され勵まされる。第五の類型からは時として

大いに牛耳られるか、第三類型ほどに大きな被害は被らない。彼等は悪い社會條件の下にも割合に影響されず、第一・第五の類型によつて引き起される動搖や不安に對する鎮靜的なはたらきを演じ、共同社會全體を靜かな落著いたものとする力をもつ。助けを要する第六の類型に對しては特に愛情深く、寛大である。この類型との交はりは彼等に獨立性の自覺を引起すに大いに役立つ。その他の類型の子供から壓迫され適してゐる自主心が覺めて來るのである。これは教育上かなり重要な點である。

第五類型は最も反社會的な、共同社會の擾亂阻害的な力である。彼等は殆んど全ての子供達——彼等自身と同じ類型に屬する子供達からも疎んじられる。第三類型の子供は最も之を敬遠し、第一のものも多少とも疎外する。第二類型とは時として志を同じうすることがあるが、對立して共同社會の平和を脅かす場合が多い。従順な無抵抗の子供達に向けられるタイラント的な態度は教師によつて阻まれる。彼等は共同社會の厄介ものであり、たゞその數が少數の場合にのみ社會内に容れられる。

第六の類型に屬する保護・援助を必要とする子供は、他の子供達と交ることによりて最も多く利益される群である。併し同時に又彼等が共同社會の内部に居ることによつて他の類型のものも亦益される。即ち彼等は他の子供の心中に同情や愛や親切の念を惹き起しここによつて共同社會的な、又教育的な大きな役割りを演じてゐるのである。

第一・第四の類型に對してはその要求を満たしてやる機會を與へる。第一・第三の型、第五の型ですら、この援助を要する仲間をもつここによつて社會性の上によい結果を自ら與へることが考へられる。

要するに各々相異なる類型の子供は、共同社會の中で夫々に異つた役割を演じるのである。第一類型の支配若しくは指導も、第四型から生じる鎮靜的な作用と同様に大切であり、第三型のために動機づけられる鼓舞は、第六型によつて引起さ

れる扶助と親切と同様に共同社会を富豊にする作用がある。相互に異つた性向の子供が一所に共同社会を構成するといふことは、決して悲しむべきことではなく、陶冶上却つて好ましいことはある。子供の中に存する一切の社會性を開發展開すいふことは、以上のことを不可缺の條件とするのである。子供達が他人に對してもつ要求を提出して之を満足させ、同時に、他人がもつ要求にも満足の機會を提供するといふことはこれによつてのみ可能になるから。

一つの類型に屬する子供だけを集めたのでは決して社會性の陶冶は行ひ得ないといふことは、敢えて實驗してみるまでもないことはである。曾つてアイヒホーンとラザールの一氏は小學校の兒童に就いて實際にこの試みをやつたことを報告してゐるが、その結果は一つ又は二つの類型の子供が非常に多い學級では十分の社會的陶冶が出來ないことを示してゐる。第三或は第六の型に屬する子供のみを集めると、それは教師にのみ頼つて相互には決して深く結びつかない弱々しい子供の外的な集合となることは、諸所の養育院でよく見られる事實である。第四類型の子供のみでは不活潑な社會しか出來ないだらうし、第一型の子供が支配的な社會は社會としてましまつて行けないであらう。

以上の事實から實踐上に次のやうな規則が生じて來る。

第一に、生命に溢れ發展の可能性に満ちた幼稚園は、社會性の諸種の類型の子供を集めた共同社會でなくてはならない。但し第五型即ち著しく反社會的な素質の持主はこの限りでない。それには一歳から六歳にわたる各年齢の子供を集めるといふことは必要である。従つて幼稚園を年齢に應じて小學校以上の學校と同様に學年別に別けることは、この立場からは好ましくない。各年齢の子供を一つの幼稚園共同社會に結成するなら、教師の行はねばならない色々の社會的陶冶の問題を幼兒自らが自分で行ふことになる。

第二に、幼稚園に於ける社會性の陶冶は相互に異つた社會的素質を有つた幼兒が相合して一つの共同社會を構成することによつて、その間の相互的影響によつて自然に行はれるものであるが、幼兒の相互的關係は場合によつて極めて極めて區々であつて、數量的にこれを按配するが如きことは到底出来るものではない。異つた事情は異つた組合はせを必要とするであらうし、組合はせが意の如く行ひ難い場合も亦あるであらう。そこで各性格を異にする幼兒の組合はせといふことは、教師の最も重い責任であり、且つ大きな問題の一つである。併し要是幼兒自らの社會陶冶的力を充分に活かし利用するといふ點に存して、この點に於いて問題は一學級學校のそれに似てる云ふことが出来る。

第三に、既に言つた如く社會性の陶冶は幼稚園保育の中心問題であるが、それは精神的に劣弱の子供、社會性に於いて劣つた子供、或は相當の援けを與へざる限り社會性の陶冶の困難な子供の場合に於いて特に然りである。而して之等の子供に對する效果的な社會教育は、たゞ生命に満ちた共同社會そのものゝ中に於いてのみ可能である。然も又かくの如き共同社會を構成する上に於いて、この種の子供自身が決して無力なのではないことが、上に述べたことによつて明らかにされた。第五の類型に入れた非社會的な子供も第六型に屬した心身虛弱の子供も、又は獨立性に缺けた自己貢徹の能力の足りぬ子供も、生命ある共同社會の構成にひこしく參與し得るのである。第五の類型は別として、以上の型の子供は共同社會内にあつて決して健全な子供の重荷にならないのみか、彼等をしてますくそその健全な社會性を長養せしめるに役立つのである。たゞその社會の組合はせを具體的な諸種の場合に應じての處置とは、教師たるものゝ最も大きな仕事として常に意を用ひねばならないところである。要するに社會性の具はつた子供の反社會的な子供との共同の社會的教育は、偶然のまゝに放置しておいたのでは出來ない。

四 幼稚園の構成

各々の園児がその生命の要求する生活領域を與へられてゐるか否か、彼等の社會に對する要求は満たされてゐるか否か、或は又彼等が社會に對してなす寄與は十分に認められ、十分に活用されてゐるか否か——これ等の問題は一にかつて幼稚園共同社會の構成にかゝつてゐる。幼稚園の構成がこれに對して十分の成功を收めず、この意味に於ける力の均衡が實現されてゐない場合には、それは幼兒自身を害ひ、教師の重荷を多くする結果になる。——それが、成功せる場合には子供自らが行ふであらう仕事を教師がせねばならないここもあらうし、子供がその要求の満たされないため社會擾亂的な行爲に出ることもあるであらうが、そのいづれの場合たるを問はず幼稚園の指導者の仕事は増加され困難になつて來ることとは否めない。

ところで教師の荷厄介になる子供といふのは、不斷に教師が注意してゐなければならぬの、何らかの保護援助を與へてやらねばならないもの、本來非社會的性情の持主であるために積極的に干渉を必要とするものがあるが、それ等の子供の數は教師の力を越ゆるものであつてはならないことは、幼稚園の構成上第一に考へるべき原則である。或る教師が幼稚園の社會的教育を完全に行ふために問題となるのは、幼兒の數の多少では決してなく、彼等の間に於ける非社會分子の數と分布とである。社會陶冶の効果が十分に擧げられるか否かは、教師に託された子供の數によるものでなく、又子供が社會的性向に於いて健全なりや否やの問題でもなく、いつに彼等の構成狀態にかゝつてゐるのである。然らばいかなる構成が社會陶冶の上に於いて有效であるか、いかなる構造は有害であるか。

筆者は過去四ヶ年にわたつてかうした動機から自分の受持つた幼兒について注意ぶかい觀察を遂げて來た。その結果に

達した結論は、既に明らかにしたやうに、有效な社會的陶冶は異つた社會的素質の子供を一緒にして一つの共同社會を構成する時に可能であるといふにあるが、そのためには教師は共同社會内に於ける力の均衡といふことに不斷の注意を拂つてゐなくてはならない。次に我々が實驗的に觀察して來たところを報告して讀者の参考に供したい。我々は多くのさうした共同社會を扱つたのであるが、そのうち社會性の陶冶に於いて明瞭に有利であつた場合と、反対に有害であつた場合とを六つ擧げてみる。

第一の級では子供の全人數が十七人のうち、第一及び第二の類型に屬する即ち社會性の積極的な子供は少く僅かに三人、擾亂的な非社會的傾向の子供も亦少く一人であつたに對して第三、第六の型が大部分で九人であつた。即ちこの事實は、大部分の子供が教師の保護と注意を要し教師に依頼して來る場合を示すものであつて、この場合教師の重荷は増し、反対に子供自らの社會促進的協力は弱く、その社會性陶冶の上には明らかに不利であつた。

次には極めて望ましい組合はせが出來た。全體で三十一人の子供のうち四分の一に及ぶ八人が第一類型の子供で、四人は第二類型の子供で、あとの二十人は各々残りの四類型へ大體に於いて等分に屬し、たゞ第四類型のみが一人であつた。この社會では、四人の第一類型が時としてあまりに優勢で全體の均衡を破りはしないかとのおそれもなくはなかつたが、八人の第一型がよくこれを抑えて他の類型を扶助又は牽制して、極めて有利な事態を現出した。

第三の場合は三十人の子供のうち各類型がほど同数であつたが、これも第一の場合と同様の理由で極めてよい結果をもたらした。

第四の場合は第二類型と第五類型とが各々全體の四分の一を占め、第一が最も少いといふ關係にあつたが、最悪のコンディションであった。即ち獨立欲の旺盛な子供と、非社會的な子供とが多數であつた爲め、常に組の平和を擾亂し、他の

社會的協調的な若しくは温順な子供を完全に壓倒して失つた。

そこで第四の場合としてこれに第一、第二、第四の類型の子供を加へて大體に於いて第三の場合の如き勢力關係に變へたところが、極めて望ましい結果を得た。更にこの組から第一の類型が減じて僅か二人となつたら、再び事態は惡轉した。

今以上の六つの場合を圖示すれば次の如くである。

型	幼兒數	10人	20人
(I)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—
(II)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—
(III)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—
(IV)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—
(V)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—
(VI)	(1)	—	—
	(2)	—	—
	(3)	—	—
	(4)	—	—
	(5)	—	—
	(6)	—	—

この觀察の結果少くとも次のことが確實に知れる。

(1) 第一類型は如何なる幼稚園共同社會にあつても無條件的に社會促進的な役割をもつ。その人數は何人に増しても、全體及び教師に累となるやうなことはない。反対に彼等を缺く社會は多分の不利を招く。彼等自らはたゞへ如何に不利な

社會にあつてもよく順應し、やがて之を改善する。

(2) 第二の類型は健全活潑な社會には必要である。彼等は幼兒の共同社會の生命の源泉となる積極分子である。然しその數は多くては却つて禍となる。彼等に十分の活動領域を與へないやうな社會は彼等にまつても亦社會そのものにまつても不幸となる。

(3) 第三の類型は同一社會内に比較的多くてもよい。彼等は仲間よりも教師を要求する。第五の類型が多すぎる時には、彼等は著しく不幸にされる。

(4) 第四類型は社會に至っても教師に至って最も多數にならせる部類である。社會聯關の良否好惡によつて最も影響されるところの少いのはこの類型の子供である。

(5) 第五類型の子供は教師にまつても社會にまつても極めて少數なるを要する。この類型だけは、全體にまつてあらでもがなの部類であり、社會全體の負擔となり、たゞ彼等自身の教育的必要といふ點のみが考へられる部類である。健全なる社會ならば、一定の程度までは彼等を容れることが出来る。たゞ全體にしての均衡を失しない程度に於てある。併しそれ自身餘り理想的でない社會では、彼等を教育することは不可能である。

(6) 第六類型も亦極めて少數のみが社會にまつても教師にまつても許される。

(7) 故に、第一、第三、第四の類型の子供は、さうしても幼稚園に加へねばならない場合にはさした考慮を拂はずとも入れてよいが、第二の類型は無制限に許ることは出來ない。然し自分達の經驗によるに實際問題としてはこの種の子供はさして多くはない。たゞ幼稚園の終り頃になつて小學校入學前の子供は當然この類型へと發育するものであるから、この點に注意する必要があらう。第五、第六の類型の子供を入れる場合には、共同社會をうまくやつて行かうとするには、そ

の場合々に深甚な注意を拂つた上で決定せねばならない。

(8) 最後に同一の子供といへども年齢が進むにつれて、又その屬する共同社會の教育的效果の如何によつて一つの類型から他の類型へと變化することを忘れてはならない。教師はそれ故に個々の子供についてその社會的性向を常に仔細に觀察考量して、適時に適當な處置をなさねばならない。

本文は自分達の狹い經驗の結果をこらまごめたものに過ぎないが、幼稚園に於ける社會的教育といふ問題に意を潛める人に何等かの意味で参考ともなれば幸である。(終)

「舌切雀」の展開（二）

東京高等學校教授

小池藤五郎

たのもしやてんつるてんの初稿

「我子の成長を喜んだ俳諧寺一茶は、又

あつばれの大わか竹ぞ見ぬうちに

吟じ、柔かな若葉を親竹より高く朝風に戰がす若竹、その成長の早さすがくしきを心から讚美してゐる。

斯うした成長は説話に於ても認められる。「舌切雀」の説話は、それが口碑で傳はつてゐるのみで有つたならば、恐らくは其の成長の跡を明瞭に辿る事は不可能であらう。従つてこの小論文では、記録されてゐる「舌切雀」の説話を検討する事によつて、其の展開の跡を吟味しようとするものである。

日本の書物でこの話が載せてある一番古い物は「宇治拾遺物語」（巻第三）の「雀恩に報ゆる事」といふ一節である。

昔昔、子供に石を打附けられて腰を折つた雀を、六十いくつのお婆さんが救つて、小桶に入れて飼つて置いた。米を食べさせたり、又、銅アカガネが鳥の病氣の薬になるといふので、銅を削つて食べさせたりしたので、雀の傷は次第に癒えて來た。併しこの婆さんの子供や孫達は、婆さんがこんなに雀を大事に飼つてゐるのを見て、それを大層馬鹿にするのであつた。幾月も養つてゐるうちに腰が折れた處がすつかりなほつたので、或日婆さんは家の外に出て、雀を手の平の上に載せた。するゞ雀はバタバタと羽撃ハバキをして飛び去つてしまつた。婆さんは「可愛相に何處かへ飛んで行きまし

た。そのうちに、又、戻つて來ませう」などと獨り言を言つて人に笑はれた。二十日許りして、或日雀がひざく鳴くの不思議に思ひ、出て見るに、婆さんが長い間飼つてゐた雀が來たのである。「まあお前は忘れずによく来てくれました」と言ふと、雀は口に銜へて來た何か小さな物を其處へ置いて飛び去つた。婆さんは不思議に思つて拾つて見ると、それは一粒の瓢箪の種である。これには何か理由が有らうと考へたので、婆さんは子供達には笑はれたが、それを聞いて見た。するに芽が出てよく繁り、普通の瓢箪とは違つて澤山に瓢箪が實つたので、近所隣の人々へも分けてやつて食べさせ、又、婆さんのする事を笑つた子や孫にも、この瓢箪をさつさり食べさせた。婆さんは澤山實つた瓢箪の中で、大きな物の七八個を匏にしようと考へて、これを家中に取込んでぶら下げて置いた。幾月かしてそれを取り下し口を開けようとするに、少し重く感じる。變な事だと思つて口を切り開くと、中には白米が一杯詰まつてゐた。他の瓢箪にも米が一杯つまつてゐる。これを器に移してつかつて見るに、非常に澤山な分量である。それでこの婆さんは富裕な身になり、近所の人々に羨まれた。この婆さんの隣に同じ位の年恰好の婆さんが住んでゐた。この婆さんの子供達は「雀を助けて仕合せの身になつた隣の婆さんに較べるに、お母さんには勵がない」と言ふので、何とかして隣の婆さんのやうになりたいものと思つた。隣へやつて來て「雀を助けて仕合せになつた事を話して下され」と根掘り葉掘りに尋ねた。尋ねられるまゝに有つた事を話してやるに、「では其の瓢箪の種を一粒下され」と願ふのである。「たゞ一粒しか雀に貰ひませぬので」と言ふ返事で、仕方なしに婆さんは家に歸つて行つた。さうかして腰の折れた雀を探し出さうとするが中々見當らない。そこで石を雀に投附けて一羽の腰を折つて捕へた。一羽の腰折雀を飼つてさへあれ程の仕合せになるのであるから、一羽・三羽となると仕合せもずつと多くなるものと考へた。多くの仕合せを得て子供に譽められようと思ひ、他に二羽の雀をも同様に腰を折り、三羽を桶に入れて飼ひ、食物をやつたり、又、

銅を削つて糞にして喰はせなきするうちに、腰の傷がなほつたので外へ放してやつた。雀の方では大變に辛い目にあひ、いまくしに思つてゐた。十日程たつて三羽の雀が來て瓢箪の種を一粒づつ置いて飛び去つた。婆さんは大喜びで、それを薄くご芽を出し、成長は早いが瓢箪は多くは實のらず、僅に七八個であつた。婆さんは我子に向つて「そなた達はわたしに勵が無い」と言ひやつたが、お前達が羨むあの仕合の婆さんより、もつと幸福になりますぞよ」と大變な機嫌である。子供達は「あの婆さんは近所の人達にも瓢箪を食べさせたが、お母さんは種を二粒も雀から貰つたのだから、瓢箪を人にも食はせ、又、自分も食べなされるものぢや」と言つた。婆さんは「なる程」と思ひ、早速、近所の人にも瓢箪を食はせ、私も子供と一緒にになつて食ひ始めた。其の味の苦い事は譬へ様もなく、食つた者は「こりやさんでも無い物を食はされた」と、嗚呼恐ろしい。瓢箪を煮る湯氣がチラツミ口の邊へかゝつただけであるが、その苦さに俺は死にさうである」などと腹立ちまぎれに言ひに來たが、婆さんは「もう良からう。米になりましたらう」などと言つて、文句を言ふ相手も無く、満々顔で歸つて行つた。二三日経つと皆の者の氣分がさっぱりした。婆さんは考へた。これ等はみな白米になるべきであつたが、急いで食つたのでこんなに怪しい事になつたであらう。そこで残つた瓢箪をすつかり家の中に吊して置いた。幾月か過ぎたので、「もう良からう。米になりましたらう」などと言つて、米を入れる桶をちつさりと準備して、獨りこゝへしながら瓢箪の口を開けて桶の上へ倒さした。するの蛇・蜂・蜈蚣・蝶々・蛇などが、ぞろぞろ出て来て、婆さんの目鼻といはずチクリくこ刺すが、婆さんはそれを米がこぼれかゝるものと考へ、痛さもさほどに感じなくて瓢箪から振り出してゐる。「もし〜雀や、少し待つてお呉れ。段々こ出しますに」などと言つてゐるうちに、七八つある瓢箪から澤山の蟲が出て来て、子供を刺して傷をつけた上に、更に婆さんを刺し殺してしまつた。雀は腰を折られて無念に思ひ、多くの蟲と相談して、この瓢箪の中へ蟲を入れて置いた

のである。だから物羨みをしてはならない。

これは全く雀の報恩説話・復讐説話であつて、婆さん一人は隣合つて住んでゐる。一方の婆さんは幼い者が石を打附けて腰を折つた雀を數つて慈悲を施し、他方の婆さんは故意に雀の腰を折り、其の傷を治療して恩恵を賣りつけてゐる。この二人の行爲は、前者は内容も形式も整つた道徳的・標準的の行爲であるが、後者は單に形のみを前者に似せたものであつて、實は力の弱い者に對する虐待行爲である。先の婆さんが雀を飼ひ、傷を癒し、或は雀の與へた種子を蒔く事を、子・孫達から他人までも嘲笑した。併し後になるごと、これ等の人々は婆さんから瓢箪を貰つて煮て食つて、結局雀も婆さんも、危害を加へた者、嘲笑者等を恵む事になつてゐる。後者が慾心を起して雀を傷附ける事になつたのも、實は子供が人の身の上を羨み、親をして雀を傷けしめたもので、母親は子供に譽められ様にする心からである。さればこの話では惡婆の行為も子を愛する母親の愛に基礎を置くが如くで、慳貪・強慾てふ惡は認められない。「宇治拾遺物語」は大體に建保頃(今から七百二十年前)に成立したものであつて、これから今日の「舌切雀」が導かれたらしい。

鎌倉時代、將軍實朝の治世の建保年間から室町時代を経て「舌切雀」は成立したであらうが、其の間に於ける記録は搜せざ見當らず、近世の初期に及んでゐる。この間の變化は専ら口碑上の話について行はれたらしく、「雀恩に報ゆる事」は

- 一 「腰折れ」が「舌切れ」となり、
- 二 子供や大人達の嘲笑的の部分が脱落し、
- 三 雀を一羽ごし、
- 四 瓢箪を如意寶珠ごとする方法をより具體化し、
- 五 大人向の部分をより子供向にする事、

等によつて新説話を産み出したであらう。「宇治拾遺物語」の大人向の話は、單純化・具體化等の方法によつてより多く兒童の心理に適合する様になり、童話化を深めた。斯る變化は勿論想像ではあるが、童話一般から考へても一人の手によつて行はれたものではなく、國民性を基礎とする話し手としての多數の親の教育的の心、聽手としての一般の幼い者の興味等が交錯呼應し、殆ど無意識的に長い時の推移中に於て行はれたであらう。近世初期、元祿以前に於ける「舌切雀」の文獻を近世文學中に發見する事が未だ吾人には出來ない、さりながら、大體に元祿頃(約二百四十年前)には、今日の説話形態にかなり近いものになつてゐた事が知られる。夫は「したきれ雀」^(スズメ)と稱する準教材的の丹表紙の小本が一證據となつてゐる。

貧しい婆さんと慳貪邪見の婆さんが隣合つて住んでゐた。貧しい婆さんは子供達が捕へて殺さうとする子雀を錢を出してやつて買ひ、我子のやうにして大事に育てゝゐた。するゝ或日の事、隣の慳貪婆さんが作つて置いた糊を雀が嘗めたので、隣の婆さんは雀をひざく殴打して、舌を切つた上で逃がしてしまつた。貧しい婆さんは非常に悲しみ、雀を搜しに出て、松原で尋ねる雀に出あひ、雀のかくれ里に伴はれて行つた。雀の親は一族を引連れて出迎へ、かくれ里へ案内して山海の珍味で饗應した。土產物に葛籠^(ソグラ)を貰つて歸つて開いて見るゝ、金銀や立派な布が澤山に入れてあつたので婆さんは大福長者になつた。隣の慳貪婆は之を聞いて非常に羨ましく思ひ、雀のかくれ里を捜しめて、饗應され、土產の葛籠を貰つて歸り、開いて見るゝ中からは蟲や蛇や化物などが現れ出て、慳貪婆を喰ひ殺してしまつた。此書物は非常に珍しい物であるが、永い年月の経過の爲に惜しいかな紙質がすつきり脆くなり、綿の様にぼろぼろになつてゐる。耄^(カシ)れが甚しく、やつて之だけ読み得た程度で、吾人が補綴を加へた處がある。其外題も享保頃の後人の筆らしい。轉じて寛延頃(今より百八十六年前)の出版の「したきれ雀」と言ふ文獻になるゝ、話は更に變化してゐる。

中昔の事であるが、或田舎に「もゝの彌五太夫」といふ人があつた。心は正直で慈悲心が深かつた。或時他處から歸る

途中で、子供が多く集つて雀一羽を捕へて打殺さうとするを見て、子供等に錢を與へ、雀をもらつて家に歸つて來た。娘のお梅にこの雀を與へて飼はせる。妻の慳貪婆は芋アマをうみながらいやな顔をして、「雀なきは逃がしてしまひなされ」といふ。或時婆さんが洗濯に使ふ爲に糊を煮てさまして置いた處、雀が籠から出て来て糊を少し嘗めたので、慳貪婆は大層腹を立てゝ、情なくも雀の舌を切つて逃がしてしまつた。娘のお梅は「かゝ様むごい事なされますな」母の残酷な行爲を止めようとした。彌五太夫は娘のお梅と下男の新八を連れて雀の行方を尋ね、「したきれ雀、チヨツチヨツ。したきれ雀チヨツチヨツ」と呼んで尋ねあるいた。雀の親は彌五太夫の親切に感じて「すげの松原」まで出迎へ、彌五太夫を我家へ伴つて馳走をした。雀は瀬川菊之丞の檜躰をして見せる。雀に馳走になつた彌五太夫は葛籠を二個貰つて歸つて來た。彌五太夫の貰つた葛籠は軽く、婆さんへの土産だと言つて雀が出した葛籠は重い。軽い葛籠を彌五太夫が背負ひ、重い方は新八が背負つて歸つて來た。彌五太夫は自分が貰つた葛籠を開くと、金銀其の他の結構の物ばかりであつて、一生榮華の生活をする事が出來た。慳貪婆さんは胸懲りであるから、自分への土産だと言つて新八が背負つて來た重い葛籠を喜んで開く。色々の化物が中から出て来て婆さんに食ひついた。

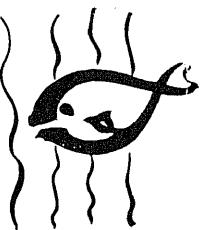
以上で寛延頃までの「舌切雀」の大體の變化は想像する事が出来る。

一 始は婆さん同志の事であつたが、後には爺さん婆さんの間の事に變化した。

二 始は二家庭間の出来事であつたが、後には一家庭内の事件となつてゐる。寛延版の「したきれ雀」は爺と婆とは夫婦でありながら、夫の爺は金銀を得て榮えて喜び、妻の婆の方は化物に喰ひ附かれる、其處には夫婦としての、扶助も同情もなく、惡行に對する當然の責罰の如くに見做されてゐる。これは「宇治拾遺物語」の二家庭間の事件の變化であり、同時にその特徴の繼承であらう。

- 三 時期を明確にする事は出来ないが、話根の重大な部分、即ち糊を嘗て舌を切られる事は元禄迄には確定してゐる。
- 四 初は雀の家を一人物が別々に訪問するのであつたが、この部分に寛延版「したきれ雀」には變化が認められる。
- 五 寛延版の「したきれ雀」にはお梅といふ娘が這入つて來てる。この話が特に女兒に歡迎された爲であらう。
- 六 後になる程正邪善惡が對立的に取扱はれ、明瞭になつてゐる。
- 七 重い葛籠ご懲食ごが結び合つたのは、現在の史料では、元禄以後と思はれる。蟲類は漸次に化物となり、寛延版では蛇・見越入道・女の姿の化物なぎが描かれてゐる。
- 八 瓢箪は如意寶珠の意味をもつてゐる。従つて單に米のみを出すものではない。この點が一入具體化されて金銀財寶となり、或は其の反対の蛇や化物の葛籠なつたものである。
- 九 「宇治拾遺物語」の蟲は、蛇なつて後々まで残つてゐる。
- 十 外題は元禄以前の徳川初期、或は室町時代の末期頃は、「雀のかくれ里物語」なごと呼ばれたものでは無からうかと考へられるが、それは、元禄版「したきれ雀」なごから思ひ附いた吾人の想像説である。元禄前後には「したきれ雀」と呼ばれ、これが今日知り得る最も古い名稱である。但し享保三年の浮世草子「猿源氏色芝居」(九)軒鱗長作、卷一には、「舌きり雀」とあり、現代的の稱呼の濫觴である。従つて古い話を記す言ふ行き方の物には「したきれ雀」の方が使用されてゐる。

當時に於ては「したきれ雀」其の他の五大童話を記した小本は、庶民教育の準備教材としての職能を有して、多く刊行されたであらうが、他の書物と異り、主として子供等に讀まれる關係から破損し易く、今日傳はつてゐる物は極めて稀である。中には多少創作的の分子を持つてゐる物もあり、現に寛延版の「したきれ雀」には其の點が僅に認められる。(以下次號)



日本産小淡水魚の 観賞とその飼ひかた

清 水 良 雄

近來熱帶魚の觀賞は、なか／＼盛になつて來たやうですが日本產のものは一向にかへり見られないやうです。勿論珍らしいもの好きの流行性がその原因でしやうが、一つには日本產のものは死に易くつて飼へないものだと思ひ込んでる人達も多いやうです。一つはそのまま飼へるやうにして賣つてゐるし、一つは、川なり池なりから捕つて來て飼ひ馴さなければならぬ、といふところが手を出させないのでしやう。實はこんな了見では、どんな魚だつて——飼ひ馴らされてる熱帶魚だつて——一二ヶ月さへも生かして置く事は出來ません。

魚を飼つて觀賞するといふ心理が第一の問題です。魚が好きで／＼、可愛くつて可愛くつて、川や池で只見てゐる

だけではどうしても物足りないといふ人でなければ飼つて見ても意味がないのです。飽きて了へば餌もやらなければ、水も取り換へないといふのではほんとに可哀さうです。あんな罪もないきれいな可愛いゝ小動物を殺して了つては、ほんこに申譯のない、可哀さうな話です。それは吾吾ごとも自然のまゝに、野の花は野に、お魚は川に、在るがまゝに任かして置く事がいゝ事である事は、よく知つてゐます。然しそこが人間の淺間しさでもいひましやうか、可愛さが餘るこつひ自分の身近かに置いて見たくなるのです、私がこゝで小動物に對する愛を力説しても、この矛盾だけは神さにも小動物達にもお許を願つて置く事に致しませう。まあ、さうでもしなければ人間の生活があま

りにも、潤のない、日常になつてしまひます、猫額大の庭にも草花を植ゑる事も出来ないし、小鳥の一羽も軒につる事も出来なくなつてしまひます。

人間の得手勝手な理窟をいはせていたゞくなら、さうした事から、少しでも自然に生活してゐるお魚や、蟲けらを仲よくなつて——或は觀察する事によつて、同じ生物である人間だけが餘りにも思ひあがらぬやうな、さうした、反省の心を見つめる事も、日に一度位はあつても、いゝのぢやないでしやうか。科學といつても自然の本當の姿を見極める事です。神様の目から見れば人間も亦自然にゐる蟲けら達の親類にしか過ぎないのですもの。

さて、前おきが長くなりましたが、私は子供の時から動植物が、ほんこにく好きだつたのです、それ等に限りなき魅力を感じるんです。ですから今迄に自分を愛してゐるのは魚だけではありません。小鳥も（多く日本産の）植物も（多くは野生の樹木に山野の草類）身近に置いては日夜愛して來てゐます。ですから、庭なきは山野の草だけです。

私がそれ等のものを身近かに置いこくのも、前にも申上

げた通り好きで可愛いくつて堪らぬ事から始まつてゐるのですから、總て自分の手元で殺すやうな事があつてはならぬといふのが吾が家のモットーです。勿論、色々な原因で死んだり枯れたりする事はあります、が、初めから死ぬ事が、わかり、枯れる事がわかつてゐるものは決して吾が家に持つて歸へらぬ事にしてゐます。だから私は、魚釣りそのものが目的であつたり、喰べる事の爲に澤山の魚を捕る事は大嫌ひです。鳥に對しても同じ事で鐵砲打ちは最も憎むところのものです。

魚を飼ふ事に就いても實はその方法は第一です。根本は「愛」です。人間の子供を育てるのと全く同じ事です。愛があつて初めて適切な方法も考へ付くといふわけです。魚でも鳥でもそれ自身が不幸では生かして置くわけには行かぬものです。凡てそれ等のものを出来るだけ幸福にしてやらなければ決して長生をするものではありません、鳥なんかにしても、鳥自身が幸福でなければ決して美しい羽色を保持する事も出来なければ明かな鳴聲を張り上げるわけもないのです。魚にしても同じ事です。小さな籠や狭いガラス

箱に入れて何が幸福かといふ人もあるかも分りませんが、

それは想像以上に彼等は、その環境に馴れ易いものです。

そして人間程の記憶力もない見えて、さ程に元の古巣を戀しがりもしないやうです。一年も飼つた小鳥は(野鳥)逃がしてやつても鳥に依つては二三日はごうしても吾が家から逃げて行かぬのがあります。

そんなわけで人間も魚にさつて同類であるやうに思はれて來るのでしやう。つまり、さうならねばならぬ様に人間が魚の身になつて、考へてやる事です。そうすれば魚の生活といふものが段々理解出來て來るわけです。魚の生活が理解出來れば小さなガラス函の中で、さうすれば幸福で、さうすれば不幸か、位の事は自然わかつて來る理窟です。そこで初めて適切な方法が考へ浮んで來るといふ順序です。

先づ飼ふのに適當な魚といへば

一、見てゐて、美しい事。

一、まして美しくはないが興味ある生活状態である事。

一、比較的手に入り易い事。

一、相當丈夫である事。

一、餘り大きくない事。

見て美しいには、ハヤ(本當の名前は、「おいかわ」)とい

ふのですが關東地方では、やまべ(いふ)タナゴ、なごがあ

つて、殆ど全國で、こにでもある魚です。生活状態に興味の

ある魚には、トウギョ、トゲウオなごでトウギョは口から

出した泡を水面に集めて巢として、その中に産卵し、トゲ

ウオは水藻の葉なごを集めて小鳥の巣のやうな指先き大

の巣を水中に造つてそのなかに産卵するのです。巣を造る

のも卵及び幼魚を守護するのも、皆雄魚です。誠に見てる

て、このちいさな魚が、ミニ涙ぐましい位の働きぶりです。

その他俗にダボハゼといはれて少年達に親しまれてる小

形のハゼもなく可愛いものです。メダカ、クチボソ、

ホンバヤ、(關東で、かう呼ばれてるますが、ウグヒの子供

です)川エビ、手長エビ、なき淡水魚であれば大抵のものは

飼ひ得るし、又、いつれも、それ相等に面白さはあります。

飼ひ方は、一尺五寸四方位の容積あるガラス函に砂を一寸餘り底に敷き——泥が混ざつてゐる水が濁るから、よ

く洗つて——それに何でもかまひませんから水草(睡蓮の

やうなものでなしに藻の類を植ゑてやるのです。萬事いかにも魚が住みよさうにしてやる事が第一です。殊に捕つて來たての魚は特に魚を殺がらせたり、驚かせたりしないやうに、取り扱ひを静かにして、いたはつてやる氣持が大事です。水はなるべく取り換へない事です。そして初めに前記の容器中茶サザ(三杯の鹽を溶かし入れておく事です。之は種々の寄生蟲なぞを、防ぐ爲めです。鹽は魚の大

切な、お薬で、萬一魚の一部に、小さな白い、「カビ」の様なものが出來たら、魚を十四五分入れておいても死なない程度に濃い鹽水に一日一回入れてやります。

この「カビ」——白點病といひます。——様の病氣が一番かかり易く又多くこの爲に死ぬんです。之さへ、防ぎ通してしまへば魚は、めつたに死ぬものではありません。

魚が水面上に口を出してバクバクしたり呼吸がせはしくなつたりした場合は水中の酸素の缺乏その他水の状態が悪くなつた事を意味するのですから、その時に限り半分が全部ごり換へる事です。只原則として水はなるべく取り換

へぬ方がいゝのです。

餌は金魚屋で賣つてゐる「ボッタ」(玉のやうに固つてゐる細いミヅですが)が一番いゝのですが馴れて來ればビスケットなども喰へるやうになります。只一回やれば皆な喰べきつてしまふ位にして必要以上に澤山やらぬ事です。喰べ残した餌が水中で腐敗して水を悪くするからです。一日一回午前中に投餌の事。

飼ひ方を委しくいへば際限がありませんが、前にも述べたやうに魚を愛する氣持さへあれば、あとは段々工風や時に應じての處置が解つて來ます。魚の健康状態なども一ト目でわかるやうになります。飼養法を知識として知らうと思はないで愛の心をもつて魚そのものを知らうとして下さい。魚を長く生かし、人に馴れさせるには之よりほかにはない事です。

それから前に書き忘れましたが魚は捕つて來る時に、「ケガ」をさせないやうに大事に捕へて來るのが重要な事です。そして入れ物に多數入れては、いけません先づ「バケツ」に五六匹が限度です、隨つてガラス器で飼ふ場合も前記の容積のものに二三匹(一寸前後のもの)といふところでしやう。

兒童心理學文獻抄

十九

牛 島 義 友

兒童畫の問題

前回人物畫の發達を述べたが、彼の頭と足丈の人、體は正面向き乍ら、顔は横向きの人、几張面に五本描かれてゐるが、腕の割りに恐しく長い指、斯る繪も實は小兒の精一杯な表現であり従つてそこに多くの問題が含まれてゐる。

彼等が描かんとするものは皆立體的な形を具へたものである。之を平面的の一枚の紙に描き現はさなければならぬ。又表現せんとする觀念は靜止的のものとは限らず、變化し、展開しつゝある事件である。之を一枚の紙に描き出さねばならない。此處に多くの困難と子供らしい解決法がある。先づ立體の表現に就て述べやう。

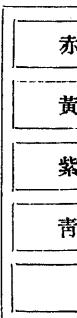
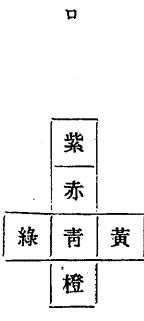
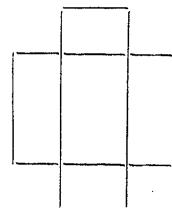
竹田俊雄 兒童の描畫作用に就て 心理學研究 第九卷

四歳から七歳迄の幼兒五十名に次の様な實驗を行つた。

先づ立方體を子供の前に置き、それを寫生させた。幼兒教育に經驗のある方は直ちに推測出来るであらうが、年長者は唯一つの四角形を描く丈であり、少數の者はその四角形の四邊に更に四角形を描きそへてる(イ圖の如く)。次に立方體の各面に赤、青、黃、紫、綠、橙の色を塗つた物を見せて描かせた所、やはり前同様に單一の四角形を描き、唯四隅の線をそれべく色別けして現はさうとして或ひはハ圖の如く描き並べたりしてゐる。

斯る故に子供が四角形を描くのは夫で立方體の唯一面を描いてゐるのでなく立方體の全部を表現してゐるつもりな

イ



ハ
赤
黄
紫
青
緑
ロ
紫
赤
青
黄
緑
橙

のである。斯る幼稚な描き方をするのは彼等は大人の様な遠近法的描法を知らない爲許りではない。今遠近法的に描いた立方體の繪を見せて夫を模写させてもやはり大部分のものは單なる四角形を描いて居り極少數のものが手本通り遠近法的に描いてゐる。而も彼等に云はせること手本の様な書き方より自分等の方が正しいのである。尤も彼等は手本の立方體を四角形として知覺してゐる譯ではなく、ちゃんと立方體として見てゐる。唯それを繪畫的に表現する時に四角形として現はすのである。その證據には粘土で作らせるご手本通りの立方體を作る。

スル幼の手本としても皆同じ様な結果で、即ち見えるまゝの形(perspektiv)ではなく、觀念して居るまゝの形に描く。斯る物を直視態的(orthoskopisch)に云ふ。尙斯る表現機能に關しては梅津氏の研究から教へられる所多い。(梅津八三、描畫作用の機能的考察、心理學研究第六卷)。

次に第二の問題即ち時間的經過を如何に一枚の繪に表現するかに就て、リュケの説明があるが此のリュケの説を用ひて整理した夢の繪の研究をのべる。

波多野いそ子 児童の夢の繪、心理學研究第七卷

女史は小學三年の子供に一番よく覚えてゐる夢を繪で描き現はさせ、此の夢の繪卷物を次の様に整理してゐる。

第一型 物語中の最も重要な瞬間を取り出して描き、それによつて物語全體を推知させるもので、例へば「窓に乘つかつて何か見てゐたら倒さに落つこつちやつた」等と云ふ恐かつた夢を描くのに先づ家の形を描き、その窓の所に人の形を倒さまに描きそへてゐる。

第二型 事件の様々の瞬間を別々の繪によつて現はし、

その他圓柱、三角柱、四角柱、圓錐、三角錐、四角錐を手本としても皆同じ様な結果で、即ち見えるまゝの形(perspektiv)ではなく、觀念して居るまゝの形に描く。斯る物を直視態的(orthoskopisch)に云ふ。尙斯る表現機能に關しては梅津氏の研究から教へられる所多い。(梅津八三、描畫作用の機能的考察、心理學研究第六卷)。

に番号をつけて時間的順序に配列したもので、漫畫等によく見られる様式である。併し之は餘り用ひられない方法らしい。

第三型 一枚の繪の中に事件の種々の瞬間を全部描いて繰返して描かれる。法隆寺の玉蟲厨子の臺座の繪の如く。第四型 之はやはり事件の異つた瞬間を一枚の畫面に書いてしまふが、同じ人物は一度しか出来ず繰返しをしない。次に繪畫の主要要素たる構圖、形象、色彩の發達の研究に一言しやう。

植松正 児童畫に於る構圖の發達、教育心理研究第四卷

氏は幼稚園並びに小學生兒童の描いた繪の構造を發達的に見る。線を左右に描きちらす搖筆錯畫の時代にはまだ構圖的のものは全然ないが、丸いものを描く廻筆錯畫期になると圓を紙の真中に描いて初めて構圖の初步的なものが現はれる。併し次に何か物の形を現はさうとする頃になつて初めて眞の意味の構圖が問題となる譯である。此の場合に見られる構圖は畫面の中央に唯一つの形を描いたもの(二)

個以上のものを描き並べたものがある。前者は統一はあるが單純であり、後者は多様であるが統一を缺いてゐる。併し統一がないと云つても意味の上からは立派に統一があり、即ち物語的統一が見られる。更に發達するに形式上からも統一が見られるが、之は小學校頃にならないと見られない。小學生の描いた繪(橋の繪)をA、遠景近景共に具はり布置よろしきを得たもの、B、遠景又は近景いづれか一方のみしか具はつてゐないが、布置よろしきもの、C、離れくであつて統一性乏しいものに分けて整理するに、二年は無統一のものが主であり、三年頃からB的のものが増し、六年位になつて初めて遠近の釣合ひのされたものを描いてゐる。

植松正 児童畫に於る形象の發達、教育心理研究第四卷

次に描かれた形象を主として其釣合ひの上から考察するに錯畫期は謂ば豫備段階であつて未だ形は認められず、次の圖式畫段階に到つても、イ、不可解な形象、ロ、説明を待つて理解される形象、ハ、表現内容を明示する形象の段階に分ける事が出来る。釣合ひの非常に悪いもの(例へば蜻

蛤を描くのに傍の人よりも大きく描いたりするものは小

究 教育心理研究第五卷

學二年生頃からは減ずるが、併し正しい釣合ひ(人よりも蜻蛉の方が非常に小さく描かれて不釣合ひの感じを起させないものは小學校卒業頃にも未だ二割位で、大部分の者は其中間位のものを描いて居る。

植松正 児童畫に於る色彩の發達、教育心理研究第五卷
 一二歳の幼兒は赤色を好んで用ふるが、次に意味もなく色々な色を用ひたがる時期がある。例へば櫛の歯を一本一本別の色で描いたりする(裝飾的多色畫の段階)。次は觀念的多色畫の段階で、花は赤、葉は綠、土は褐色と云ふ風に事物に就いて有して居る色彩觀念を其儘現すものである。最後に寫實的多色畫を描き、見ゆるがまゝの色を用ひて描かんとする。

以上は兒童畫を主として短的な方面から考察し、技功的な點を問題とした。併し兒童は元來子供の心、子供の興味、個性が現はされて居るものであるから、此方面を見落すのは片手落ち云はねばなるまい。

畠山勤子、濱名かの子 児童畫に於ける構造的分析的研究

満一歳から六歳までの六百名餘の幼兒の畫題から其興味の發達をみると、一歳は錯畫期であるから其興味を覗ひ得ないが、二歳兒は旗を好んで描き三歳では其他家、景色を描く、四歳兒は旗の代りに家が増し、其他汽車自動車等活動的なものが増す。五歳兒は同じ家を描くにしても花・木・山を描き添へ、景色には太陽・人家が主要なものとなり、其複雑になりつゝある生活状態を反映する。六才児では人を對象として描く者が特に目だつて来る。(尙此研究には構圖其他的技功的方面が取扱はれて居る)。

豊明幼稚園、波多野、横山、兒童畫に現はれた個性の研究 教育心理研究 第八卷

幼稚園児に一週間毎日自由畫を描かせ、其繪に現れた個性、幼稚園生活に現れる子供の性格との關係をしらべたものである。

先づ毎日描いた畫に畫題の上から或は構圖筆致の上から著しい統一があり、一致のあるのに驚かされるが、斯る描き方を類型化して其繪の型、子供の性格とに深い關係が

あるのに一層驚く。例へば

第一類 同じ主題が殆ど毎日描かれて居る。其繪は平凡で、ありふれて居り、又繪に動きがなく、筆致に生氣が無い、又繪に中心がなく纏りが無い。斯る繪を描く者の性格は、元氣がなく、子供らしい明かさがない、従つて活動的でない、又他に付して印象的でない爲に友達にも其存在が認められない。等。

第二類 A、畫題は毎日變るが、構圖色彩にはつきりした統一のあるもの、即ち毎日が生き生きと變化して居り而も此子供でなければ描けない云ふ特質を持つて居る。斯る作者等の性格は伶俐で圓滿な誰にも好かれる級長型の子供であつた。

B、種々の傾向が雜然と集合して居り、統一のないもの。斯る繪の作者は負けぎらひが、氣分家、意地つぱりであった。

第三類 對立する二つの傾向のあるもの。例へば初めの

三日は生き／＼したものと描いて居るが、後の三日は活氣の無い繪を描いたりする類であるが、其性格は「その時その

時で變る。よい時には全くすなほであるが、すね出したら最後、何と云つてもきかない子供であつたりする。

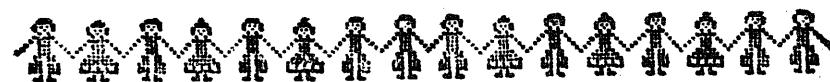
次に筆致の精粗其他から分けて、

第四類 筆致の非常に荒いもの、一つ一つの線が非常に太く、勢がある、クレオンが紙にさはるや否や、サット、自分の思ふ方へと自由自在にかいて行つた筆のあこが見える。斯る繪の作者は「がき大將で人に好かれぬ、落つきがなく、ものに努力しない」子だつたり、「どちらへのびるか未だ見當が付かぬ。併し何がよい素質があるか思はれたりする子供である。

第五類 筆致の非常に柔い、むしろ生氣のないものであるが、其作者は保姆等から「人には好かれる方であるが氣が小さい。何でも始末を一人とするが積極的でなく、ちぢこまつて居る」と評されて居る。斯くして描かれたものゝ中に子供の個性がよく現はされて居て、個性研究に何物かを貢献すると思はれる。

童話 石屋さん

鰐江幼稚園 山本ゆき子



大きいお寺の横に大きい大きい杉の木が有りました。その杉の木の下に小さい低い御家がありました。そのお家に石屋さんが住んで居りましたがこの石屋さんは若い人で丸いお顔をして居ました。そうして何時もにこへして歌をうたひながらカッチャン、ミ石を割つて、燈籠やお地蔵様なきを拵へて居ました。此の若い石屋さんは雨が降つても雪が降つても、朝早くから毎日一生懸命にお仕事をしてゐました。今日も石屋さんはお地蔵様を拵へようと思つて、朝早くからカッチン～ご始めましたが何だかねむくなりましたので、いつのまにやらグウ～ごねむり出しました。石屋さんのお室の隅には小さい穴があいてゐました。するごその穴から白い大きな石が飛び出して來ました。此の石は少し高い石の上にヒミツミ上つて行つて可愛いお目々をして、



「お仕事のお手傳ひを仕て上げよう、仕て上げよう、仕て上げよう」三三度手を上げて言ひました。するご石屋さんのお庭に居た小さい黒い石ころがみんな元氣に起き上つて、手に小さい金槌を持つてカッチャン／＼お仕事を始めました。暫くしてから立派なお地蔵様が出来上りました。黒い石の子供達は嬉しくて／＼たまらず、そのお地蔵様のまわりに御手々をつないでお唱歌をうたひ始めました。元氣のいゝ石屋さんはやつぱりグウ／＼ねむつて居ましたが餘り賑やかなので目をさめしません、さうでせう、可愛らしい黒い石ころの子供達は、一生懸命に唄を唄つたりお遊戯をしたりして居ます。白いさつきの石は真中で手をたゝいて居ます。若い石屋さんは餘り面白いのでアハハ……と思はず大きな聲で笑ひます。白い石は吃驚して穴の中へ入つて行きました。澤山の黒い石の子供達は又元のように静かになつてしまひました。お地蔵様は立派に出来上つてニコ／＼していらっしゃいました。

遊びの場に於ける子供の氣持

(承前)

西田扁雄

實驗Ⅲ 遊びの場 (Spielsituation)

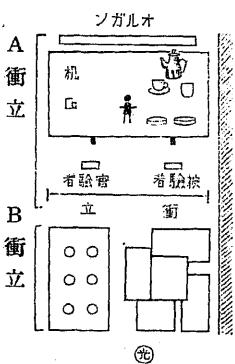
a、實驗方法。

机の上には人形

○ 硝子皿、この中には團栗や藤の實がはいつてゐる。

家へ呼び入れる。

「お母様がお留守で、赤坊が泣いて困るので泣かない様に遊んで下さい」等々言ふ。



コーヒー茶碗

茶淹れ(ブリキ製)等が置いてある。

被驗者が代償物a、b又は、チヨコレートを喰べさせる時、「赤坊はどんな顔をしてゐますか」と問ふ。

被驗者が代償物a、b又は、チヨコレートを喰べさせる時、「赤坊はどんな顔をしてゐますか」と問ふ。

被験者は勿論女兒のみである。

b 實驗結果。

① 最初から全く代償として受取る。

大きい子供 80% 小さい子供 90%

② 躊躇の後に代償として受取る。

例。伸子さん(五年十一月)久仁子さん(六年六月)

代償物をa手渡す『紙ですよ。剥きませうか』^ミ言ひながら人形の口へもつてゆく。又『紙なり喰べてゐる』等々言ふ。

③ 厚紙として取扱ふ。

例。イク子さん(五年六月)——代償物aを渡す『紙ですよ。剥きませうか』^ミ言ひながら、いちくらまはして遂に人形の口へは持つてゆかない。

④ 全拒絕

例 伸子さん(五年十一月)

代償物b、を手渡す『あら紙ですよ』^ミ言つて破つてしまふ。「赤坊が伸子さんもチヨコレートをお喰べなさい言つてますよ』^ミ言ふ『伸子が皆喰べてしまふ』

お人形が泣く』^ミ言ひながら遂に全部喰べてしまふ。

實驗の拙劣な爲に子供が^ミの程度遊びの中へ没入したかは疑問である。が實驗の拙劣さにも拘らず人形があり、遊び道具のある事によつて所謂「眞剣な場」^ミは何程か異つた「遊びの場面」に近いものを感じてゐたであらう^ミ思へる。

實驗I、II等には現はれなかつた「全く代償としての取扱ひ」が實驗IIIには、代償物a—95%代償物b—^ミ99%も現はれてゐる事はその事を裏書きする様である。

代償物b(厚紙そのまゝ)は代償的aよりも一層チヨコレートとしての取扱ひが困難であらう^ミ想像された。これは積木其他子供の遊び道具が複雑な意味を持つてゐるといけない^ミいふ原理^ミ同様である。實驗結果による^ミ矢張り代償物bの時にのみ全拒絕が現れてゐるのである。

著しく感じる事は、多くの小さい子供が、うまく遊んでくれぬ事である。「……を喰べさせて下さ』^ミ言つても、なかなか喰べさせやう^ミしなかつたり、「々『それですか?』^ミ質ねたりする。遂にイク子さんは人形の脚をもつて宙に吊した。

代償物a、bを人形に喰べさせてゐる時に、「お人形はどんな顔をしてゐますか?」と問ひa、bを區別して答へた場合を比較する。大きい子供80%に對して小さい子供8%である。玲子さん(六年四月)は「赤ちゃんはまづい」と言つてます」。實驗者が言ふ、「畫用紙ですかね」と言つて早速本當のチヨコレートを取り換へる。珠子さん(五年二月)は代償物aの時は『笑つてゐる』と言ひ、bの時は『にこにこしてゐる』と言ふ。

概 括

①發達した場は未發達の場よりも代償性が少ない、即ち全拒絕が未發達の場よりも多いであらうと想像された。然るに結果は25%(發達した場)に對して19%(未發達の場)で僅かに増加の傾向はあるが俄には信用出來ない。これは實驗の拙劣な爲「發達した場」であるべきなのが「未發達の場」に終つてしまつた事に原因があるのであらう。併しつきい子供では50%(發達した場)に對して50%(未發達の場)であるから明瞭に發達した場の方が代償性が少いと言へる様である。小さい子供では10%に對して18%で逆に未發達の場

の方が増加の傾向を示してゐる。これは五年位の子供では、本當にチヨコレートを喰べる事と、チヨコレートをあげませうかと言はれる事との間に明確な差異がないのかも知れない。即ち現實と非現實との間にそれ程の明瞭な境界線が引かれてゐないのかも知れない。併しこの結果のみで輕率に斷言出来る事ではない。

實驗種類	被驗者數	年 齡	對象物ハ				ノ同 モト取 ジヒ。
			全 拒 絕	厚 紙 シ テ ハ レ ジ ル	ト 取 レ ハ レ ジ ル	全 ク 受 取 レ ハ レ ジ ル	
III 代償物 a	10	5;10—6;5 平均 6;2	0	0	20	80	100
	10	5;0—5;8 平均 5;5	0	10	0	90	90
III 代償物 b	8	5;10—6;5 平均 6;1	13	0	13	75	88
	10	5;0—5;8 平均 5;5	10	0	10	80	90

(2)精神分化度の相違(年齢)による代償行動の變化はかなり明瞭に示されたと思ふ。

全拒絶——實驗Ⅰ(小さい子供 10% 大きい子供 40%)

實驗Ⅱ(大きい子供 45% 小さい子供 10%)

試みに代償として受取る場合(口へ入れて噛む場合)

實驗Ⅰ 50% (小さい子供)
0% (大きい子供)

實驗Ⅱ 64% (小さい子供)
13% (大きい子供)

④實驗Ⅱ(チョコレート)に於いては大きい子供と小さい子供との間に著しい相違が見當らなかつたにも拘らず、Ⅱ(鉄)に於いてはかなり明瞭な相違を區別し得た事は何か意味がありそうである。子供にさつて、チョコレートと鉄との間には本質的な相違があるのであらう。この事は次の項に關聯してゐる。

⑤大きい子供は真剣な場では代償物を受取る事が少い(全拒絶が多い)が、遊びの場では代償物を受取る事が多い

のである。

小さい子供は真剣な場では代償物を受取る事が多い(全拒絶が少い)が、遊びの場では代償物を受取る事が少ないのである。

この事は子供の精神分化度の相違によつて一應は説明されさうである。即ち精神分化度の低い小さい子供は、真剣な場では、手渡された物の意味が、大きい子供程には明確に知つてゐないので兎も角受取るといつた場合が多いのではないか。それに反して遊びの場では、物をうまく遊びの場へもち込んで、遊び道具とする事が出来ないのである。例へば、三歳位の子供は本當の大きい筈でなければ掃除しないが、六、七歳の子供は遊び道具の筈で遊ぶ事が出来るのである。

併し我々が真剣な場と名付け、遊びの場と呼ぶものが、子供の意識にさつても果して、真剣な場であり、遊びの場であらうか。チョコレートを喰べる場は明瞭に真剣な現實の場であらう。併し鉄で色紙を切る様な事は、その意味を明確に知らぬ限り、どうでもよい事なのではなからうか。

この事が実験Ⅱ(チヨコレート)に於いて大きい子供と小さい子供との間に著しい相違がなく、Ⅱ(鉄)に於いて明瞭な相違が見られた事の説明となるであらう。

そして、子供の意識に對して遊びとは何かの問題が追求されねばならぬ様に思へる。

⑥子供が真剣な現實面に留る限り代償物は受取られない様である。例へば、他の子供がお菓子を喰べてゐる見て、お菓子を欲しがる子供にお菓子をあげませうと言つて厚紙

告八月號休刊

本誌八月號は休刊し、九月に於て八・九兩月號を合冊發刊することに致します。

お暑さの折から皆様には折角おからだよいとひなさいましてよき夏をお過しの程、お祈り申し上げます。

昭和十一年七月

日本幼稚園協會

を與へたら、子供は厚紙を放り出して泣き始めるに違ひない。

代償物が受取られる場合は、真剣な場では非現實層に何程か近付いた時又は遊びの場に於いてある。これは遊びの何かを暗示してゐる様である。

実験はこれで完結したのでもなく、結論のあらう筈もない。一つの試みに過ぎない。

倉橋主幹今夏の講習

八 月	七 月	十 二 日	金澤市	文部省家庭教育講習
二 九	二十一 日より 二十三日まで	同	東京市	文部省中等教育講習
七 六	二十四日より 二十六日まで	同		文部省保育講習
四 二	二十七日	同		昭和保母養成所講習
十一 五	二十八日	同		佛教保育會講習
日 日	二十九日	同		日本體操聯盟講習
日 日	三十日	大分市		夏期大學教育學講習
日 日	日 日	岡山市		吉備保育會講習
日 日	日 日	赤穂町		兵庫縣女教員講習
日 日	日 日	福井市		愛育會保育講習
日 日	日 日	京都市		本願寺保育事業講習

『系統的保育案の實際』解説（五）

生活訓練	倉橋惣三
誘導保育	菊池ふじの
唱歌遊戯	小村上露子
談話	新庄よしこ
観察	小島光子
手技	川ふみ

『系統的保育案の實際』は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園の編になり、日本幼稚園協會から發行せられてゐる。昨年七月以來、既に多大の部數が、全國保育界に普遍し、熱心なる保母諸君によつて、研究せられ又實施せられてゐる。しかも此の保育案は、舊來の諸保育案、殊に單なる羅列的保育要目と全く異なり、幼稚園保育の本義に立脚して、幼兒の生活に出發し、生活に歸着する、生活系統としての新らしき保育案であるところから、その實施に於ても新らしい研究を必要とする。又、本保育案の各項に就て、尙ほ進んで詳細なる解説を求められることが尠くない。

本稿は、それ等の要求に對して同人相促し、分擔して各項の解説を試みたものである。說いて詳細を盡さないのは素より、私案、極めて熟せざるところが多いのを恐れる。たゞ、保育案の表示のみにては一層盡さざるを思ひ、これが理解を助け、實施上の便を加へ得ることを希ぶてゐるのである。

尙ほ念のため附言するが、本保育案の本質的中心をなすものは、各項の内容よりも、保育案そのものの立て方にある。内容の選擇排列も亦、一々意を用ひたところであるが、保育案としての根本の建て前を離れては、保育としての活きたる意味が失はれる。従つて、『系統的保育案の實際』を絶えず傍に置かることなくしては、本解説は正しき用をなすことを得ないのであらう。

年少組、第一二保育期

—満四歳から満五歳—

生活訓練

第一週

夏休みが済んだ。子ども達は再び新らしい興味を以て幼稚園に来る。その中に真黒な顔をした子がある。蒼白い顔をした子がある。夏休みはいろいろの結果を子ども達に與へて、時々するこ思ひがけないこもあるのに驚かされたりする。特別な大病は已むを得ないこして、たゞなんこなく瘦せて、顔色が悪くなつて、元氣のない子なんか、夏休みが却つて悪い結果を與へたこになる。世の中のこは、思ひ通りにのみゆかないものだ。

さて、さうした結果は別として、夏休みが子どもに與へる共通の結果は、さうもねんねえに歸らせるこだ。第一保育期にやつまついた多少の規律習慣がくづれて、ゆるん

で、だらけて、萬事に不規律になるこである。但し、こいつて子どもを責める譯ではない。無理もない以上に、それでこそ夏休みであつたこ、大きな目にはほゝゑましくなる。この反対に、休暇あけに前よりも一段と規律ものになり、見違えるやうにきちんとこしたら、それは休みに自分の家に歸つてゐたのではなくて、入隊でもしてゐたのかも知れないのだ。規律といつたつて、不規律といつたつて、子どもの事である。大した差ではないかも知れない。先生が休みくせがついて、だるくつて、なまけてゐるのこは話が遠ふであらう。だから、さうくやかましく囃旋ねじをしつけなくともよろしいさ。たゞそろくこ、気持ちをしやんこさせてゆくこが必要である。

遊び道具の出しつばなし、放りつけなし、これは子さもにいつもあるここで、老人が碁を一局すませて、静かに石を仕舞つて、さて一服こいつた風にはゆかない。子さもだつて亂雑が好物といふ譯ではないが、次には又面白い遊びが待つてゐることである。前の遊び道具を放げ出しておいて次の方へ馳けてゆく。さもありさうな事でもある。ただ、休み中に如何にもだらけ癖がついで、ぐすくま、そちらを散らかしたまゝ、人に片づけさせやうとする風は、さうもそのまゝにして置けない。早くなほして、一應あたりまでのきまり、心まで引かへしてやらないと、いつまでたりとも、ぐづだら、だらぐづの横着を引くのであらう。

子さもは、あれでながく横着なところのあるものだから。九月上旬、何しろまだ相當暑い。さう思ふやうには、子さもしつかりやれまい。先生の思ふやうに、にはゆかないのが、すべて生活訓練といふものであらう。

休暇あけの、折角くの新保育期、子さもはするところはだらけてゐても、氣は勇んでゐる。そこで、何か、第一保育期になかつたことを、「こんじから」といふ新らしいかけ聲

つきで始めさせるのはいゝことである。第一保育期とは進歩したことの、一寸した得意さを感じさせるものである。

その一つとして、食後のうがひの薬、薬のぼつちりはいつうがひ藥に限つたことではない。何かしら新らしいことといふところに意味があるのである。うがひも實は、休み中やめてゐたかも知れない。それを新らしい興味で再び始める事になる。

第二週

食事の作法。これは度々のことので、もう一々解説することもない。こゝで此の事を擧げてあるのも、休暇後の半日保育が終つてお辦當が始まるからである。

みだりに草木を折り取らぬこと、之れも今更のことでもないが、休み中、山へゆき、海邊へゆき、相當自由に草木を折り取つて遊んだりした子もあらう。それを、幼稚園でやられてはいけないからの注意である。——うちも幼稚園といふところは小うるさいところだ。子さもは思ふかも知

れない。

ところで、草木を折り取らせないやうに、その理由をぎういふかは一寸問題になる。先生が折角く植ゑたのだから……。お金をして植ゑさせたのだから……。公共のものだから……。草木が痛いといふから……。草木が可愛そうだから……。まだいろいろあるかも知れない。それは、先生の御人柄次第のことだ。それでなければならぬといふこゝもないが、幼児の訓練としては、さて何んといひませうかな。

第三週

登園の仕度をぐづぐづしないといふのは、幼稚園内

生活でなく、家庭生活であるが、夏休み後、一寸は興味が蘇つたが、又この頃少しだれ氣味にもなるといふところから、心得として話して置く注意である。

ところで、斯ういふ注意を一般的にした方がいいか、或は御意見もあることであらう。なんなら、各々の家庭についてその様子をきいて、そんな子が無いのだったら、勿論いらない注意である。一人一人なら、その子に個人的にやさしく注意したらいいところでもあらう。しかし、實際はなかなか多い。さうだつたら、皆に對して注意した方が效果があるといふものである。

誘導保育

第一週

蟲の家

長い二ヶ月のお休みも過ぎて、愈々第一學期が始まる。

先生も、子供も、子供達の親までもが皆、久々に相會ふ事の嬉しさに、懐しさに、胸を躍らせながら、足をはづませながらやつて來るのである。併し、子供と言ふものは何ご

云ふ淡い表情しかないのだらう。思ふ事は一杯で、前の日から、前々日から、いやもつて前日の幾日からか、第二學期の始まるのを指折り數へて待つて居た云ふのに、そしてその待ちがれたその時が來たと言ふのに、子供等はたゞ物珍しげな眼差で、幼稚園を、保育室内を一瞥するだけなのである。その中に早くも開かれたドアの外に見える意外の

物を發見する。それは食橋主事の心からの贈物、芝は剪られ枝は剪られても、之だけは言はれて、伸びるがままに、茂るがままに残されてある心入れの贈物、——雑草が即ちそれだ。そして、その繁みの中に、蟲さへ飛んで居るではないか、子供等は昨日までの長い間を、離ればなれに過ごした同志だなきは三とも思へぬ心安さで、傍の人を誘つて庭へ出る。飛ぶ飛ぶバッタ、居る居るコホロギ、もう子供達は夢中だ。

「先生！蟲を入れる袋頂戴！」

「袋頂戴」「袋頂戴！」

そつちからも「つちからも」の聲で、先生は大多忙だ。兼ねて、こういふ事のあるのを覺悟して、丹念に取つてあつた

封筒も、次から次の申出で、忽ち拂底してしまふ大賣行き。その中に子供達も、袋にばかり入れ込んでしまふのが、つまらなくなるのであらう。誰が誘ふでもなく六七人が一組になつて、砂場のそつちにもこつちにも、積木の蟲のお家が建築される。そして逃げない様に言つて砂の土塹さへ廻される。

又先生を加へた一つのグループでは、嘗つての毛蟲等の飼育用に備へられた硝子鉢が持ち出されて、その中にみんなの袋の蟲々が入れられる。砂が運ばれる。草が入れられる。茄子だの胡瓜だの、觀察味も加へての飼育が始まる。家が出來て蟲が飼はれ、之だけでは足りないからもつて取つて來やう、又蟲採りの方へ熱中する言つた工合。

最初の一日二日は之でも済むであらうが、三日目あたりからは、こちらも一人々々に捕蟲網が拵へて興へ度くなるし、子供も作つて作つてさせがむ様になる。そこで、カンレーシャの布で袋が縫はれ、針金の口がつけられて、稍く長い竹の棒の先に固着されて、一人一人の捕蟲網が出來上がる。出來上つた一つの見本を見た子供、殊にも男の子など

は、自分の網の出来上るのが待ち切れないので「僕の未だ、早く作つて」、こ側を離れずにはねだる。網が出来るご今度は一人一人の蟲の家として、何處へでも簡便に持ち運べるもののが與へ度くもなるし、子供側としてはこれがまたこの上もなく欲しい物であるに違ひない。

この個人の蟲の家は、やはり空箱利用が便利だ。夏の間、たまつたアイスクリームの空箱等絶好のものだ。ご町摩に取手のリボンまで附いてるので、之は空箱の種類に依つて、どこへこはつきり言へないが、適當なこころに覗き穴を作つて、これにカンレーチャ等を貼つて置く。蟲を出し入れする口は、逃げられない様手早にする必要があるので、極く簡便に出し入れの出来る工夫がなされなければならぬ。それにはやはり適當の所に三方に切れ目を入れ、附いて居る方にカンレーチャの細布を貼つて、頻繁なる蟲の出し入れにもかなり堪へられる様堅牢にして置き度いものである。この個人蟲取り網、蟲の家作りはこても忙しい。大人總出で、一生懸命作らねばこても間に合はない。一人一人の網や蟲の家が出来上るご幼稚園庭内にのみ止つて

は居られなくなつて、本校校庭や寄宿舎裏の岡までも遠征する事がよくある。この時いつも思ふ事であるが郊外の幼稚園、地方の幼稚園では先生も子供達もこてもお仕合せでお羨しい。力一ぱい駆け廻れるし、根限り蟲探しに興じられるからである。

おそらく、今週一杯はこの蟲取り、蟲の家作りで終始するであらう。この案は、先生が立案計畫して、その中へ子供等の興味を誘ひ導き入れると言ふ、今迄の誘導保育案とは些か趣を異にして、子供達の間でおのづからまり、發展してゆくと言ふ意味合のものが多くなつて居る。

この案に對して保育者として意圖せられる教育效果は、なんものか考へて見るに、動物に對する愛撫、觀察の二つ。愛撫が過ぎて殘酷となる事が間々ある事であるから、よく注意してゐてたしなめる心組を忘れてはならない。

繼續する期間は、おそらく秋も末に近く、千草にすだくで、蟲が念頭第一を占める期間は一週間位で、あこは次第に興味が薄らいで来る。

第二週

蟲の家完成

積木のお家も、いろいろに工夫が凝られて、出来る丈は出来てしまつた様だ。

一人々々の捕蟲網も、蟲の家も出来た。子供達の蟲に對しての興味は、何の不足も、又妨げるものもなく充分に満喫させられたわけだ。これからは段々と興味が薄らいで来る。蟲の家完成とはこんな意味で言つた事で、一つの構想を持つた家が、この週で完成する云ふのではない。

秋祭り

秋は諸所の鎮守社の祭禮があるが、分けても九月は盛んにある。東京でもその土地々々の鎮守社の祭禮が九月には入るに行はれるので、十一日の第一學期始業の頃には、方の、トントコトントコの大鼓の音がこの幼稚園にまで聞えて来る。子供達は家にあつては、自分の家の鎮守社のお祭りを見聞きしてゐるし、登園の途中でも、よく見て來るので、子供等の中には、御輿に對しての興味、——

作つて見度い、それよりも擔いで見度いの興味の方が、鬱勃として潛んでゐるに違ひない。こんな所を狙つてこの案は立てられた。

御輿の胴體は、樽か、木の空箱の深いもの、或は笊の様なものを利用した方がよろしい。これを元にして全體の恰好、飾り等の製作を、實際のお輿を見て來ては進める。全體の土臺の形は主に先生、子供は飾りを作る。飾りは黒のラシャ紙に金紙又は黃の模造紙等を薛繪式にあしらつて作り上げる。御輿の頂上や屋根の四ツ角にある鳳凰等も子供らしい出來が面白い。御輿の下部に擔ひ棒を一本づゝ交叉して四本つける。これが出來上るごと、子供達は我も我もと擔ひ棒にこびり附いて擔きまわる。ワッショイ、ワッショイと掛け聲の勇ましいごと、本格的なごと。この有様を見るごと、絆纏までもご凝らなくごと、花轎位は揃へてかぶらせて見度くなる。そこで花轎製作と言ふ計畫が立つ(手技參照)、これの期待效果は行事に對する興味、觀察、製作。

陰曆八月十五日は年によつて違ふけれども、多分この週

う。

あたりに来るであらう。この日は普通にお名月様ミモザも言はれ、お園子、栗、柿、枝豆、芋、御酒その他薄等の秋草をお月様にお供へして、月を賞てる事が古から行はれて來た。

又この日は芋をゆでゝ食するので、芋名月イモノツキとも言はれる。

私共はお園子や柿栗等、自分達の好きなものが真ん圓い鏡の様なお月様に供へられるばかりか、そのいろいろのお供へ物のお下りは、後で頂けるのでざんなにこの日の來るのをも待つた事であつたらう。今でも何處の家庭でも、こりわけ子供のある家庭では盛に行はれてゐる。

幼稚園では、保育時間中即ちお晝の間に行はれるので、御主人役のお月様は、人工的にこしらへられなければならぬ。いつもは、黒板に、大きなお月様がお山の間からぬ

つくりミお出になつた所が描かれたり、黃色の紙のお月様

が森の上へお出になつた所が工夫されたり、數人の子供達の相談によつて、子供等の思ひのまゝのお月様が出來たりする。

扱て今度はお供へ物であるが、粘土が最適の材料であら

お園子は誰もが最も得意とする所なので、大きいお園子、小さいお園子が忽ちの中に三方に山盛りになる。柿、栗、芋等は、實物の柿、栗、芋等を見ながらの粘土製作。

或は又畫用紙等に、お供へ物の各種が描畫採色されて切抜かれ、之を少し斜めに立つ様に工夫してお盆に盛られてモイ。或はちりシロ、或はお菓子(紙の)等ミ、思ひ思ひのお供へ物が出來上つたら、今しがた出來たお月様の前に机を出し、それに、花瓶にさした秋草ミ一緒に、このお園子、果物等を盛つたお三方が供へられる。

期待效果は、家庭年中行事の興味、觀察、製作。
繼續作業時間はこの日一日。

第三週

お興、花傘等、先週からの繼續作業はこの週で先づ完成。未完成の中から、ワッショイワッショイ擔ぎ廻つてゐたのが、花傘までが出來上つたので一入興味が強く、暫くの間は、このお祭り遊びで幼稚園のお庭は賑はふ。

唱歌遊戯

第一週

唱歌 一回

長い夏休みの後ではあるし、幼稚園生活にもまだあまり慣れなかつた頃に歌つた歌は忘れてしまつたのも澤山あるだらう。一つ／＼を思ひ出しながらみんなで歌つて見やう。

砂のトンネル（大正幼年唱歌）

可愛いこの歌詞を黒板に書いておく。

曲の第一音が高いので、最初は案外歌ひ難い様に思はれる。さならない様に、小さな聲で歌ふ様にすれば、樂にきれいに歌へる。

遊戲 三回

夏休みが過ぎて楽しい幼稚園が始り、四月に入園した子供たちも、急にお兄さんお姉さんになつた様な氣持で、

べつに自分たちの力を發揮して来る。

三／＼夏休みまで遊戲の仲間に入れなかつた子、スキッ

だけするのがいやだ云つてゐた子などを遊戲の仲間に引き入れるには、このよい機會を見逃がさない様に。

砂のトンネル（記事参照）

第二週

唱歌 二回

オサル（エホンシヤウカ）

可愛らしいヒヨコを想像しながら、可愛らしい氣持で歌いたい。やさしいのですぐに覚えられる。

遊戲 二回

オサル（記事参照）

實際に子供にやらせて見るごと、年少組では初めの「オサルノコドモハオニゴッコ、エダカラエダヘトビマハル」の所

は、記事の通りでは六ヶ敷くてごちや／＼になつてしまふ。色々考へて見たが、最も簡単な方法として、皆右を向きスキップでこんで行く様にして見た。年長組だつた

第三週

が、子供たちにこのオサルの振りを好きな様に考へてして御覧なさい」といつてさせて見た事があつたが、

「オサルノコドモハオニゴッコ」

の所は隣りの子供の肩を打つて逃げ出した。

「エダカラエダヘトビマハル」

こゝは皆が申し合せた様に、両手を使って木登りの様子を表はしてゐた。

なか／＼面白い表現だと思ふ。これはほんの一例に過ぎないが、簡単な歌で表現しやすいものを子供たちに振付けさせて見る。隨分面白い。私たちのよい参考にもなる。

ヒヨコ(記事参照)

ヒヨコのお母さんとに分れてするのであるが、ヒヨコになつたものは、必ずこうしなければならない云ふ型はない。「ヒヨコガニハデビヨピヨピヨ／＼／＼」の所

蓮の花(記事参照)

全體を通じて軽やかに取扱ふこと。

運動會も近づいて來るので、殊に年少組は少し早い目に用意をして、練習の機會を多くしなければならぬ。押しせまつてから大慌に詰込まない様に心用意が必要である。運動會の遊戯には、オサル、ヒヨコ、蓮の花の三つをする事にした。

蓮の花(記事参照)

これは古い歌ではあるけれど、いゝものはいつ歌つてもいゝと思ふ。だれない様に、軽快な氣分で少しテンポを早めて歌つた方がよい。

遊戲 四回

ヒヨコの遊戯には、オサル、ヒヨコ、蓮の花の三つをする事にした。

蓮の花(記事参照)

全體を通じて軽やかに取扱ふこと。

運動會用としては、廣い場所で見る。個人々々の細かい動作よりも、全體的大きな動きのあるものの方がきれいで見える。

この蓮の花は、全體が一つの花になつて、すばんだり開いたりして大きく動作をするので、きれいに見える。

砂のトンネル

ルネントニマヤオ イカタイカタ タキヂガマヤオ ラカラサ ナスンギ
テイスリク テケアリモ



一ゴーゴーピ ガヤシキノマチモオ



かけっこ(競争)。

今まで自由遊びの中にかけっこをして遊んでは居たけれど、運動会でするについて、スタートの時とか其の他の色々の注意をしながら、度々させて見る。

砂のトンネル

戸倉ハル氏振付
大正幼年唱歌

準備

二人づゝ向ひ合ひに組み一組となり圓形を作る。二組即ち四人を豫め一組としてきめておく。

ギンスナサラサラモリアゲテ

二人互に向ひ合つてしやがみ、両手にて砂を盛り上げ山を作る動作を四回行ふ。

オヤマガデキタ

二人共向ひ合つたまゝ立ち上りそのまゝ両手をつなぐ、右手と相手の左手、左手と相手の右手、といふ様に。

タカイタカイ

お互につないだ手をそのまま次第に上に高く上げる

オヤマニトンネル

一方の手だけはなし、一方のつないでる手は高くあげその中を二人がくぐる。

クリヌイテ

今度は前さ反対の手を高くあげ、その中をくぐる。

オモチャノキシャガ

豫めきめておいた一組四人の中一方の組は、二人が前後に並び後の者は

砂のトンネル

♩=88

きんすなさらさらもりあげて
おやさかできたたかいたかい
おやまにトンネルくりぬいて
おもちゃのきやをピゴーゴー

五四

前の者の肩に軽く手をのせ、前
の者は手を腰の所にひろげ車を作
る、他の一方の組は、二人が向
ひ合つたまゝ手を高くさり、
トンネルを作る。

ピゴーゴー
そのトンネルの中を汽車になつた組が通りぬけ、トンネルの先に、互に向ひ合つた位置につく。

オサル

以上は二回か三回くりかへして行ふ。トンネルになる組み汽車になる組は、その度毎に交代するこことなる。

オ サ ル 戸倉ハル氏振付
エホンシャウカ

準備 二人づゝになり、一列圓形を作る

オサルノコドモハ

二人づゝ組むうちの右の者はスキップで左の者の前を通り、左の者の左隣りに来る、この時左の者はそのまま自分の位置に立つてゐる。

オニゴッコ

今度はいままで動かず立つてゐた左の者は、(但し位置が變つたから實際は右になつてゐるが)自分の相手の前をスキップで通り、相手の隣りに来る、その間一方の者はそのまま立つてゐる。

エダカラエダヘ

オサルノコドモハと同じ。

トビマハル

オニゴッコと同じ。

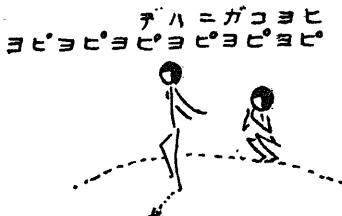
オサルノカアサン

皆圓心に向ひ、お互の肩に両手をのせて歩く。

オサル

A musical score consisting of four staves of music. The top staff uses treble clef, the second staff alto clef, the third staff bass clef, and the bottom staff bass clef. The music is in common time. The lyrics are written below each staff in Japanese. The first staff contains the lyrics "オサルノ コドモハ オニゴッ". The second staff contains "エタカラ エタヘ トビマハル". The third staff contains "オサルノ カサン ヒナタ ボッコ". The fourth staff contains "コックリ コックリ キヌムリ ョ". The score includes various musical markings such as eighth and sixteenth note patterns, rests, and dynamic changes.

ヒョコ



ヒナタボッコ

そのまゝそりこ躍む

コックリコックリ井ネムリヨ
るねむりをする。

間奏

間奏として、オサルノコドモハオニゴッコまでを彈く、その間、皆、元の圓周の位置に
もどる、そして又ははじめからする。こうして一回か三回くりかへして行ふ。

ヒ ヨ コ 戸倉ハル氏振付
エホンシヤウカ

準備 二人づゝ組み、一列圓形を作る。

ヒヨコガニハデヒヨビヒヨビヒヨビヒヨビ

二人の中一方が母ざり一方がヒヨコごきめ、ヒヨコは兩手を羽にして後にのばし、圓の
中を自由に歩く、母ざりはそのままの位置でしゃがむで拍手する。

ヒヨコノカアサンコッコッコ

ヒヨコは圓の内の勝手な場所にしゃがみ、拍手する。母ざりは立つて兩手を左右にひろ
げ、はがひをひろげた様子をし、コッコッコミ、頸を右、左、右と動かす。

オナカガスイタトヒヨビヒヨビヒヨビヒヨビ

母ざりは、しゃがみ拍手、ヒヨコは圓の中を自由に歩く、兩手をお腹にあてたりして、

お腹のすいた様

子をし乍ら歩

く。

ゴハンヲタベヨト

コッコッコ

母ざりは立つて

片手をさしのべ

てヒヨコを呼ぶ

様にする。ヒヨ

コはスキップで

母ざりのところ

へ歸つて来る。

次に母ざりヒヨ

コミ代つて、もー

度行ふこよい。

コッコッコトヨベタヲハコ

トタイスガカナオ
ヨビヨビヨビヨビヨビ



ヒヨコ

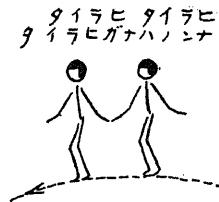
ピヨコガニハテ ピヨピヨピヨ ピヨピヨピヨ

ヒヨコノカサンコッココオナーカガスイタト

ヒヨピヨピヨ ヒヨピヨピヨ ゴハンヲタベヨト コッココ

蓮の花

蓮の花 戸倉ハル氏振付
幼稚園唱歌



準備 圓形を作る。
ヒライタヒライタナンノハナガヒライタ

皆手をつなぎ軽いかけあしで右の方に行く。

レンゲノハナガヒライタ

両手で花の形を作り乍ら自分のまはりを右からまはる。

ヒライタトオモツタラ

やはり両手花を作つたまゝ左から自分のまはりをまはる。

イツノマニカツボンダ

手をつなぎ圓心に向ひ軽いかけあしで進む最後にそこにしゃがむ。

ツボンダツボンダナンノハナガツボンダ

しゃがむだまゝ歌に合はせて拍手する、掌を上下に合はせて右掌を上に重ねたり左掌を上

に重ねたり、手を一つづゝかへし乍ら拍手する。

レンゲノハナガツボンダ

両手で花の形を頭上高く作り乍ら立つ。

ツボンダト

花を作つたまゝ立つ。

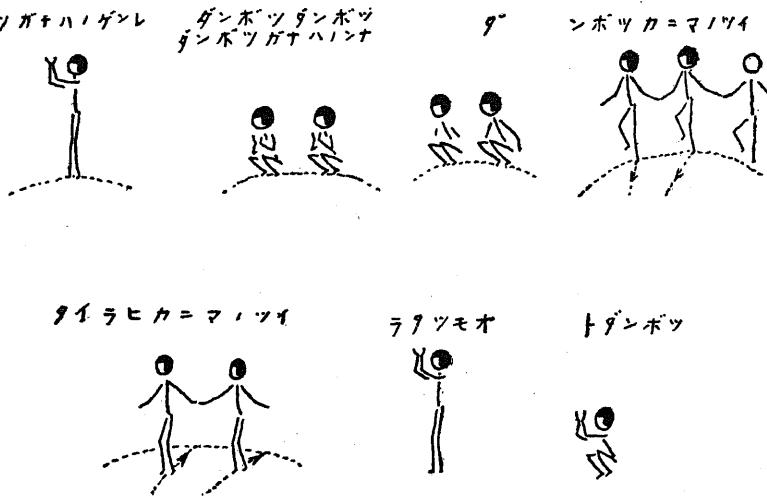
オモツタラ

花を作つたまゝ立つ。

イツノマニカヒライタ

手を三回かけあしで後にさがり元の圓周の位置に戻る

これを何回もくりかへして行ふ。



ダンボツガナハノゲンレ ダンボツダンボツ
ダンボツガナハノンナ

ンボツカニマノツイ

タイラヒカニマノツイ

ラツモオ

トダンボツ

談
話

第一週

夏休み中のいろいろの話

長い間遇はなかつたお友達、お室、それから庭や砂場や、それが數へれば六十日といふ相當の日數が経つてゐる。四五日休んで出て來た時とは全く違ひ、先生に對しても、友達同士にでも、一寸あらたな気持ちになるらしい。規則的な日々の通園といふことを、しばし遠のいてゐたので、この幼い年齢では、始めの一日前日はまだお母さんや兄弟との生活の方になづんでゐて、あの六月の終り七月の始めころの幼稚園生活とは一寸違つた氣分が見える。中にはぐつこ後戻りして、新入の始めにかへつて、附添を離れなかつたり、一寸した事に泣いて見たり、といふ事もあらう、まだ許されていい時である。座席、靴箱、帽子掛けの位置なきもまごつく事もあらうし、この點よく心得ておき、一人々々の子をもとのすみなれた保育室へやさしく迎へるのが第一。

斯うして一人づゝの生活状態をよく知つておいて、第一期の保育を始める。

さて夏休み中のいろいろの話は、どういふ形式でいふわけもない。久し振りに顔を合せたる故、お互ひに話さずには居られないであらう。まづ真黒に日に焦けた健康そ

な顔に遇へば、まあ、お丈夫そうにおなりですね、隨分脊
が高くなつてなきよい驚きは、それに對するお母さんの
挨拶、毎日々々よく水につかりましてさか、先生におつし
やつて頂いたので、お休み中は陽にあたるのをお仕事にし
てるました、おかげ様ですつかり丈夫になりました、な
さいふ報告で、まづ始業式から話が始る。

翌日の朝、例の通り久しぶりで先生のまはりに腰かけ
る。こゝで、先生はみんなの様子をきく前に、自分の話も
して聞かせる。先生も海へなり山へなり、單なる一日二日
の旅行でも出かければいろいろ話もあらう、がぎこにも出
かけないこしても、六十日の間には、何か話して聞かせる
事はあらう。何でもない事でもいゝ。

先生の話を聞いてる間に、子供もそれべく自分達の生
活を思ひ出す。そして、話したくてたまらなくなり、やた
らに話し出してくる。

そこで、一人づゝ次々名指しで話させる。こんなこ
は一日ではすまないので、二三日、或は一週間こ、しばら
くかかる事もあるらう。

又探集して來た蝶々を持つて來るものもあれば、海岸で
拾つた貝のいろ／＼を箱に入れてくるもの、珍らしい魚の
アルコール漬けなき持つて來るものもあつたりして、この
展覽は自分の室だけでは無く、方々のを見せて貰ひに行く
のもよろしからう。

鳴かない鈴蟲

荒く萌え出た夏草の茂みには、こぼろぎ、ぱたなぎ子
供を喜ばせる蟲が澤山になつた。そこで蟲に關聯したこの
お話を選ぶ。こぼろぎ、ぱた等の方が手近にある蟲こは
いへ、やはり、話の題こして扱ふのは鈴蟲か松蟲の方であ
らう。

この話は靜かに讀んで聽かせる。一度位。
愛するの餘り、蟲の方では隨分迷惑もしてゐるであらう
から、その邊の心づかひをこの話にふくませて。

三羽のひよこ

強慾な狼が、その行爲の報いで、お腹に三つのふくらみ

が出来る、そのふくらみが活躍するのはとても子供が喜ぶので、是迄に幾回も用ひたことがある。

第二週

お彼岸について

その程度に話すべきか、これは一寸考へさせられる。幼児の日々の生活とは餘りに縁の無いことで、思へばそれきりであるが、さればこそ、尙更斯ういふ時に佛事の話をし置きたい氣がある。

この家の家でも新佛については、なるべく子供にはかゝはり無くこの心づかひをするものであるが、朝毎の禮拜とか、祖先へ或は祖父母への墓参、又到來物の珍らしいものなさは、まづ佛前に供へてからなぎゝいふことは、心ある家庭の親達はまづ自らこれを行ひ、又子供にさせてゐる家々があるものである。斯ういふ家庭で育てられてゐる子は知らず識らず敬虔な氣持を養はれてゆくのでは無いかと思はる。

さて、彼岸であるが、その委しい話は別として、この七日間は特に佛様を大切に思つて、新らしい花にこりかへる。

嵐について

この頃はよく荒い風が吹く。一年の中で、さういふ時期であることを知らせると共に、晴天の日、曇り、雨、風等の他の日がはつきりしてくるわけ。嵐そのものよりも先生の経験した嵐の日の事實ばなし、例へば、ひざい嵐のあいで電車が通らなくなつた、お庭や通りの木がみんな根こそぎ倒れた、塀が壊れた等、ありのまゝを話す。幼い時年寄から大地震の時の様子を度々聞かされて、あゝ又かと思ふ程聞かされてゐた、それがあの大震災の時、あまり現實にそれを経験して、老人の注意や、警戒してくれた事等が、やくに立つたこともある。そんなことを思へば、多くの事が、機會ある毎にそれについての話をしておくべきであるこつくべく思はれる。

観察

第一週

こほろぎ、ぱつた

お休みが済んで来てみた幼稚園は何といふ歓迎ぶりを示して呉れるこゝであらう。庭中は草、草、草。踏めば飛び出す蟲、蟲。こゝも達の心もはねかへる様である。蟲こりは樂しい。こちらは周到な用意こ注意こを以て樂しみをふんだんにさせよう。その用意こいふのは幼稚園の草叢にある蟲の種類をあらかじめ知つて置く事が一つ、種類こ同時に大體の習性を知つて置く事が二つ、子供達に取らせる爲の道具を簡単でいゝから(蟲こりあり、これは針金を輪にしそれにさらし又はカンレイシヤの袋をぬひつけ竹の棒に結んだもの、取つた蟲を入れる籠、箱、袋の類、これ等は廢物利用

で子供達こ一しょにつくる)用意する事がその三つ。注意こいふご限りなくあるがその中でも、特に身體的方面を注意すべきであらう。九月の日射はまだ暑い、無帽でかけまはるのは毒である。走つてころんで怪我のないやう、ましてあらう。こほろぎでは、えんまこほろぎ、つらりさせこほろぎ、みつかざこほろぎ、おかめこほろぎ。ぱつたでは、だいめうぱつた、きちーぱつた、しょうりよばつた等が普通である。

朝顔の花

春蒔いてすつこ觀察をつゞけてゐた朝顔がお休みにすつかり成長し、花が咲き、もう實さへ出來てゐる。まだ毎朝よく咲く。今日はいくつ咲いた、あしたはどれどそれが咲く、何色がいくつ、こいふ樂しみは私共誰もがもつてゐる

がないひつかゝりのない様。わかり切つたこゝであるが。

こゝうして折角取つた蟲をそれなりにしてはならない。こ

ぼろぎは鉢に砂土を入れ、草を植ゑ、胡瓜など與へて飼ふ。

保育室の靜になつたひこゝき、鳴き始める聲に驚きもし喜びもする。こゝもの探求心は發音器を觀察せずには置かな

い、そのためにも是非飼ひたい。バッタ等は手にこゝつて觀

る。大きな目、觸角、はねる爲の太い後肢、等をこちらか

ら適當に指示してみせる。

こほろぎでは、えんまこほろぎ、つらりさせこほろぎ、みつかざこほろぎ、おかめこほろぎ。ぱつたでは、だいめうぱつた、きちーぱつた、しょうりよばつた等が普通である。

春蒔いてすつこ觀察をつゞけてゐた朝顔がお休みにすつ

かり成長し、花が咲き、もう實さへ出來てゐる。まだ毎朝

よく咲く。今日はいくつ咲いた、あしたはどれどそれが咲く、何色がいくつ、こいふ樂しみは私共誰もがもつてゐる

夏の楽しい思出の一つだ。それを幼稚園で味ふのは又いゝ
こゝであらう。その間に「朝顔の花びらにはほら、きれめが
ないのね」又「この朝顔もおんなじよう」にまきついてゐます
よ」この左巻を注意するのもいゝ。その時同時に實も注意した
い。それには特に大きい三か色の勝てるる花三かに注意
して印をつけて置き、その成長をみる事により必然的に
花より實への成長を觀察させるのもよい方法である。兎に
角花三實三を別々に觀察させるより連絡をつけたいもので
あり、實の成長、種子へ迄續けた觀察をさせ度いのである。

第二週

町の祭禮

ドーンドーンと彈む様な太鼓の音が奥まつた幼稚園に迄
聞えて來る頃は、誰彼なく自分達の住む邊のお祭のこゝ
を話す。土地により氏神により地方なら一層その土地特有
な味のある行事は何と言つてもお祭である。こゝもの好き
な、そしてかうした社會觀察は郷土教育の第一歩であら
う。幼稚園ではつひを着なくともよいけれどお神輿や萬燈
や花笠など用意してお祭りの氣分を味はせたい。門前を
おみこしが渡御の時など一しょにみに行くのもよいこゝで

ある。そして子供達の知つてゐるお祭の様子など話し合ふ
のもよい。

お月見

お月見が來る三秋を感じる。秋は空のもつとも美しい時
である。お月見の觀察は二つの意味をもつ。一つは天體觀
察。これは幼稚園では直接に出來ないがお月見を通して興
味をむけるのである。さうする迄もなく既にお月様に對し
て星空に對してこゝも達は非常な親しみを持つてゐるがそ
れはファンタスティックなものである。それはそのままに
して尚その上に實在のものそれ自身の美しさに關心をもた
せたいこゝである。もう一つは行事としての觀察である。
誘導保育の方で説明されてゐるであらうから特別に記す必
要もない。お供物として初物の栗や柿、製作に際して觀察
させよう。

第三週

鳩(傳書鳩)

一幼兒の家庭から傳書鳩をもらつた。早速鳩小屋をこし
らへて飼ひ始めた。こゝも達にこつて最も親しみ深い鳥で

あるがかう自分達のものとして眼近くに觀るのは又大きな喜びである。ここに傳書鳩となるこそからそれへこ話し

乍ら面白く觀察させられる。

手 技

第一週

自由畫 二回

夏休み中海岸に遊び、山に遊びし印象、又は家庭での面

白き遊びの印象を自由畫としてかゝせる。夏休み中に書きしものなご幼稚園に、もつて來ればこれなごも部屋に一緒に飾つて、小展覽會を開く。

朝顔

幼稚園の庭に咲く朝顔を寫生したり、花數輪、葉數葉を

淺き鉢なさに水を入れてさしてかゝせたりする。

鉄仕事

朝顔 一回

自由畫 一回

観察させながら、切らせる。

外側は色の紙にて切り、中心はその色紙を裏がへして小

さく丸くきる。葉は中央大きく、兩側少し小さく、三つに裂けてゐればよいのである。

ぬりゑ

朝顔 一回

花の色は、幼兒の好きなものにする。茶色なごをさける事を話す。

第二週

自由畫

年長組の繪の鑑賞

夏休み中のいろいろの自由畫も、幼稚園がはじまつてからの繪も交せて飾つてみせてもらう。保姆が出来るだけ少人數の幼兒を連れて(一組を幾度かに分けて)繪の説明をよくする。

粘土 一回

栗 お月見のお園子 果物

お月見のお話により、お月様に供へる種々のものを語りあひ、そのうち幼兒の出來そうな、栗、柿、きぬかつぎ、なさつくる、出來たものはお三寶、或はお盆にのせる。

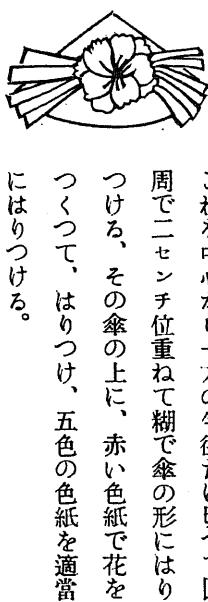
ぬりゑ コスモス 一回

コスモスの花は幼兒の任意にぬらせ細き葉はその書きたる黒の線をたどつて緑色の色鉛筆でかゝせる。

製作

祭禮の花傘 一回

ボール紙のあまり厚くないものを選び、直徑三〇センチ位の圓形に切る。



花傘を四つ五つつくる

自由画 自 在 一回

鉢仕事 柿 一回

柿の實の橙色、へたの綠色の色模造紙を用意して、柿の實の形を切らせる二つ或は三つ切つてはる。

ぬりゑ カキ 一回

柿の實物を見てぬらせる。

粘 土 柿

實物より餘程小さくなる心配あれば、出来るだけ大きく作る様注意する。

製作

祭禮の花傘 ツバキ 一回

前週につくりし花傘に紙テープにてあごの下に結べるやうに傘の上より一本紐をつける

これを中心から一方の半径だけ切つて圓周で二センチ位重ねて糊で傘の形にはりつける、その傘の上に、赤い色紙で花をつくつて、はりつけ、五色の色紙を適當にはりつける。

年長組、第一保育期

—満五歳から満六歳—

生活訓練

第一週

年少組にあつた同じことが、年長組にも挙げられている。休暇中の行動のゆるみを引きしめるといふのである。ところで、之れは年少、年長の別はないことだが、却つて年長の方に一層此の訓練的注意を要するかも知れない。曰く歸り仕度。曰く道具箱の整理あとかたづけ。等。等。

第二週

第三週

どちらも、元氣溢れる子が、元氣に任せてやる勢を、静かに落ちつかせ、調整しようといふのである。年長組の第二保育期。今こそ幼稚園生活の元氣の絶頂。なかく順序

を待つて徐ろに静かにさいつた譯には、自分はしようと思つても、元氣がさうさせない。そこを、ぢつと抑へて順序を守らせ、行動を丁寧にさせるのである。一方は食後、一方はこれから園外へ出るといふ時。その意味からいつても、是非落ちつかせなければならぬ。

訓練といふことには、その實質内容、それから生ずる一般效果である。たゞへば此の二つの週の場合、うがひの訓練、お歸りの訓練でもあるが、さういふ實質内容の他に、落ちつきといふ一般的の効果が期待されてゐるのである。そして、一般的効果の方が、より大切でもあるのである。ただししかし、落ちつかせることが大切だからさいつて、落ちつきの稽古といふものがあらう譯ではない。況んや、落ち

つけ／＼で訓練出来るものでもない。何か實際のことがなければならぬ。そこが修身でなく訓練たる所以である。落ちつけ／＼は落ちつきを訓練せられるところ、それがたゞの訓練でなく生活訓練たる所以である。

かういふことを特に言ふのは、幼稚園に限らず、子さの訓練が一々の小さい行動に對して、こま／＼に行はれて、その裏の大きい本旨、目的をいつたものが考へられなのが通弊だからである。そのために、訓練が形式化したり、外面化したり、又、する方さしても妙に窮屈に、ぎごちないこことなつたりする。(といひて、本旨、目的をいふことだけで、ばつ／＼して子どもが捉へ得ないよ／＼なこゝばかり)

誘導保育

第一週

年少組第一學期第一二週の本欄は、蟲に始り蟲に終つて居て、興味の中心は實に蟲であるのに、年長組第一學期の本欄には、何と蟲の字の片影すらも見受けられないではない

かり言つて聞かせてゐる弊も一方にある。これも困る。此の保育案の訓練事項だつて、一々具體的に舉げてはあるが、たゞにそのこゝ、そのこゝを訓練しようとする列舉日録ではない。もつゞ大きく、一體幼兒は、ぎごういふ風の本旨で訓練せらるべきかの、大目標があるのである。そこを見こめて貰はないこゝ、小乗訓練になつて仕舞つて、大乗訓練ではなくなつて仕舞ふ。大乗訓練めつての小乗訓練なくては、たゞ口やかましく、こせ／＼した駄けに過ぎない。教育でもなんでもない。この點、しかゞ御考へ願ひ置きます。

か。一つ園舎に居て、一方は蟲を中心にして生活してゐる時に、たつた一歳しか違はない年長組の子供は、蟲に無關心で居られるであらうか、之はまたざうしたわけか、ミ、實際家はきつ／＼不審がられるに違ひない。是は、こうである。蟲に對し

ての興味は、年少組よりはむしろ年長組の方が熾烈で、蟲の家等に凝される工夫も亦一段と精細なものである事は、さなたもご存じの事と思はれる。たゞ、この系統的保育案は、かなりの程度、むしろ殆んど事實に即した案である故に、こうであつた。この年は、直ぐ後に、學校全體としての或行事があつたので、幼稚園としてもそれに参加せねばならなかつた。それでこの人形の家の仕事も、是非それ迄に大體完成さして置き度かつたので、第二學期が始まるや否やこの仕事に暮進した様の有様で、蟲に關しての遊びは、實に、自由遊びの形に於て放任されてあつたと言つてもいゝ位である。次に年少組本欄に出て来る秋祭りに就ても、略々同様の事情で、自由遊びのまゝにせられた。殊にこの方は、昨年拵へた御輿も花傘も残つてゐるので尙ほの事である。遊ぶ事も、仕事の方も、年少組よりはずつと濃厚になつて來てゐるのが事實である。以上の様な事情であつた御諒承頂き度い。

塗が無くとも、まゝどう道具は無くとも、まして人形の家が無くとも、發明家である子供は、隨時隨所、何物をも想像の坩堝の中に溶して、ただひたむきに遊ぶ。けれども自分の幼い時の記憶を迎つて見て、あの小暗きまでに茂つた杉林の中で、並み立つ杉の太木のあれこれに床高く棒を結びつけ、この棒の上に板を渡して一軒の家を拵へ、この中で、日暮れの來るのを恨めしく思ひながら遊び過したあの頃の思出が仄かに香つて來て、一つ子供達が専門に遊べる一軒の家を作つて、子供達を狂喜させて見様の心に決めた。まゝごこの家とするのもあまり興無い事に思はれ、まゝどこにはきつと人形がつきもの故、始めにもう人形を作つて、この御主人として置き、この家を人形の家と名づけた。けれども所詮は子供等の、殊に女兒のまゝごこの家なのである。扱てこう決めては見たが、又迷つた。何處へ建てる？、幼稚園のお庭の隅の方の木立の間に、このお伽噺の様な家を建て、見度いとは熱望に堪えない事ではあるが、實際問題として、風雨に思ひのまゝにさらされても、いつ迄もイメージの様な家であり得るか、と考へて見た時に、この矢走る

考の前に立ちざまらざるを得なかつた。そして考へた揚句には、暗かつたら又何とか、云ふ考で、保育室の中に屋根もありドアもある一軒の家を、第一回の時は拵へて見た。二度目即ち系統的保育案を目論んだ時には、すつと最初の理念を崩して、保育室の一隅に、一割を區切つたものにした。

家の中の家具、調度、テーブル掛、敷物、窓掛け、衝立、額、時計、植木鉢の果てに到るまで、先生と子供との協同作業であり、臺所に使ふ野菜類、魚介類までも製作しやうこの計畫なので、日々の仕事の悦びも又格別ではあるが、實際の仕事は仲々に忙しく、子供の仕事としてもかなり重みのあるものばかりである。

具體的な細かい計畫は、計畫欄に記載してある通り。

今週は先生が主となつて、大體の外廓を作り上げる。今週の仕事は大きな仕事故、子供の參與する部分は極く少い。釘を打つとか、板を押へるのを手傳ふとか云ふ位の事である。

期待效果の一つは、やさしみの心——人形を中心として

の遊びは、事柄と言へ、ものごし、言葉使ひと言へ、見てる

ても微笑まれる位やさしみの籠つた情景である。お互同志が招かれたり招いたり、もてなしたりもてなされたり、の遊び事も皆やさしみの心なくては出来ぬ遊びである。かく遊ぶ事によつて尙ほもこの心が醸される事は確かである。

二には家の生活の興味。まゝどこ遊びは徹頭徹尾家の生活の模倣である。三には観察。——その誘導保育案、その製作も觀察なくしては出来ないものが多いのであるが、この魚介類、野菜類等の製作には、觀察は實に重要な役割を演ずる。四には製作、——製作も、手技としての製作は勿論のこと、製作に對してのオリジナリティーと云つた様のものもかなり啓發されるところが多いであらう。

繼續作業時間は八週間としてあるが、その仕事に力を入れる程度にもよるであらうが、實はもつと多くを豫期せねばならないかと思ふ。

第二週

敷物の下圖

子供の家の敷物であるから、敷物の模様は子供の繪の中から得度い、少くとも子供からヒントを得度いと考へて、

この下圖決定前に豫備行動として、度々、この主旨で子供達は繪を描くことを要求されたり、圖案みたいなものを工夫して欲しいと懇求されたりした。結局は子供の興味のある所を考慮しての、先生の案になってしまったのであるが。

この時は、ズック布を使用した爲め、布のヘリを織絲のほつれぬ様、且つは裝飾用にもと思つて、布の廻りをブルー色の毛絲でヘリ縫をした。ヘリから十五センチ位は入つて、ブルー、赤、ブルーの三色の毛絲で間を一縁位づゝおいて三筋、すつさ鉗縫をした。それから一〇縁位間をおいて内側に、又ブルー、赤、ブルーの三色の毛絲で三筋鉗縫をし、この二〇縁の間の所に、果物（バナナ、苺、枇杷、西瓜、バインアップル、瓜、みかん）の形をそれぞれの色の布で切抜いて之を縫ひ込んだ。

果物を布に切抜かせる爲にも、果物の各種類を網羅しようと思つたり、又數物に縫込む爲の、果物の大きさの概念を與へたりしたいと思つて、この又準備行動として二三回果物を注文して自由畫を描かせて見た事であつた。

今週はつまり敷物については、下圖決定前の準備行動

しての自由畫、それから下圖の構圖が決まつて後、この爲の準備行動としての自由畫が度々なされたわけである。

額、衝立の下圖

額の中にはめられる繪、衝立に描かれる繪は、子供の繪でなければならない事として、その繪を物色する爲に、之又、果物、人物、景色と廣い範圍に亘つて自由畫をさせた。

第三週

敷物

愈々今週から敷物の實際に取りかゝつた。太い毛絲針に太細の毛絲を用ひた。布はズックを使用した。ふち縫、鉗縫をする所はチョークで線を引いて置く。縫ひぐる所がかなり澤山あるのに、子供の興味繼續時間は至つて短く、又絲を通してやつたり、もつれを直して見たりで、なかなか思ふ様にはかぎれない。男の子も縫ひ度そうな面持で見てゐるし、ズックに毛絲針と云ふ、ごく大まかなぬひごりでもあるしするから、男子の一生一度の思出にもと思つて、男兒にも躊躇する所なくさせて見た。

お月見

年少組の所に思ふまゝを記したれば、こゝには省く。

視したわけではなく、年少組ご重複する故の省略である事を諒解して頂き度い。

唱歌遊戯

第一週

唱歌二回

長い夏休みを終へて、子供たちは休暇中の個々の生活から幼稚園の集団生活へはいつて行く時、「お友達」と一緒に云ふ楽しみ、喜びを殊に強く感じるに違ひない。

お友達と一緒に楽しく今までに習つた歌を思ひ出しながら歌ふのもよし、又一人づゝ好きなものを歌つて、みんながよき聽手になるのもよい。

ふざけたり、さなる様な聲を出す事は、初めからの約束にしてしない事にしよう。

お池の紺鯉(童謡唱歌名曲全集)

遊戯二回

今までのおさらひ。

雀のお宿(小學唱歌七十一曲集)

第二週

唱歌二回

年長組の今頃になれば、一人でも歌詞、曲共に正しく歌へる様に、はつきりと覚えさせる事が必要である。殊更に發聲法を教へないまでも、姿勢を正しくして、よく口を開けてきれいな聲で歌ふ様に、そうしてこゝで息を吸ひませうと段々に正しい歌ひ方今まで導びく様にしたい。

時には子供たちが交代でコンダクターとなり、タクトをさらせて歌つて見るのも面白く、それに依つてだんごに拍子を理解する様になる。

遊戯二回

雀のお宿(記事参照)

かけっこ(競争)

いゝお天氣に部屋に焼ぶつてゐるのは勿體ない。庭へ出てかけっこをしよう。樂しみな運動會もある事だし、リレーに、個人競争に、夢中になる。

第三週

唱歌 二回

練習。

遊戯 三回

日の丸行進(記事参照)

行進遊戯である。

小學生は日の丸の旗の周圍を表はし、幼稚園は旗の赤い丸を表はす。幼兒は赤帽子をかぶり両手に赤旗を持つて、四重圓位になり終始一貫右を向いて動作をしながら行進して居ればよい。一番外側の圓は年長組の子供にして、いつも圓が亂れない様に注意してゐなければならぬ。

小學校も合同にする關係上、別々に練習する場合でも、號令は總て小學校も最初から同じ様にかけて練習しないで、一緒になつてした時に惑つてしまふ。幼稚園では最初は一組づゝ練習をし、次には二組、三組、全體一緒に云ふ様にして、とにかく數多く練習の機會を與へなければならない。

(但し内側の圓は少々亂れてもそんなに見苦しくはない。
もく／＼日の丸を塗りつぶすわけだから)。線を引いておいても子供たちは周圍の小學生に見られたり、見物席を眺めながらしたりするので、外へ／＼一段々に擴がつて大きな圓になつてしまふ。「線の上を歩きませう」何度も注意する必要がある。

小學生の方は白帽、白旗。(又は日の丸の旗)

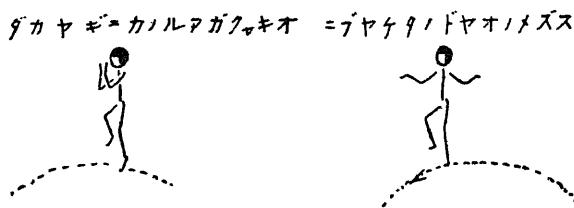
最初の體形は、幼稚園を中心にして四方に圓形に列ぶ。三回位その體形で行進し、「丸をさけ」と云ふ合図で四つの圓は先頭からだん／＼に丸を解いて四角な線上を歩き、全體で一つの大きな旗の周圍の輪廓を作らるわけである。

お天氣のよい日には、太鼓、オルガン、ハーモニカ等を

持出して外で練習する方がよい。

雀の宿

雀の宿 小學唱歌七十二曲集
戸倉ハル氏振付



準備 圓形を作り内方を向く、

一、スズメノオヤドノタケヤブニ

兩手を左右にひろげ羽の様にして上下に動かし乍ら圓周の上を右方へ歩いて行く。

オキヤクガアルノカニギヤカダ

止つて圓の内方を向き、右足を高くあげ左足でさび、同時に手をうつ、次に左足を同様に行ふ、こうして、右、左、右、左、左、さ行ふ。

オヤコノスズメガコエゴエニ

兩掌を口の所にもつて行き話をする時の様子をし、顔を右方の隣の者見合はせて話をする、次に左の者、次に右の者さうに合はせてする。

チユ チユ チュ

兩掌を肩のところに持つて行き掌を圓の中心に向ける様にひろげ、上體をやゝ右に傾け、次に左に傾ける。

チユ チユ チュ

手は前の動作のまゝ自分の周圍を一まはりする。

オ
ヤ
エ
ゴ
エ
コ

コ
ヤ
オ
エ
ゴ
エ
コ

チ
ュ
チ
ュ
チ
ュ

前のチユ チユ 三同じ動作を、右、左、右、三行ふ。

二、スズメノオヤドノタケヤブニ

一番三同じ。

オキヤクガアルノカオホサワギ

一番三同じ。

オホゼイイツショニ

皆肩をくみ合はせて圓心に向ひ歩いて行く。

コエアゲテ

拍子しながら後にさがる。

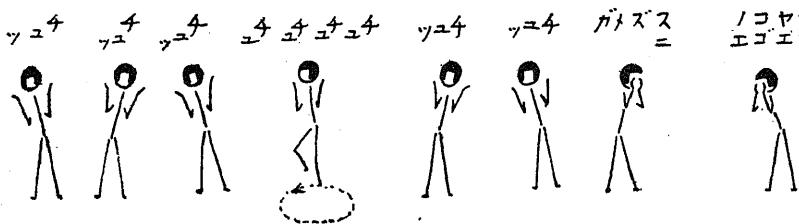
チ
ュ
チ
ュ
チ
ュ
チ
ュ
チ
ュ
チ
ュ

一番三同じ。

日 の 丸 行 進 東京女高師附小作
ラヂオ體操曲

準備、日の丸の周圍の四邊になる組は日の丸の旗を、圓の部になる組は赤い旗を両手に持ち夫々指定の位置について待つてゐる、右向けの號令で右を向きはじめの四小節間の曲を聞いて後、初めの號令で行進をはじめる。

第一小節



日の丸行進

両手を胸の兩わきに持つて來て行進する。

第一小節

両手を上にのばし行進をつゞける



第三小節

両手を横にのばし行進する。



第四小節

第一小節と同じ。(胸に)



第五小節

両手を前にのばし行進する。



第六小節

第一小節と同じ。(上に)



第七小節

第三小節と同じ(横に)

第八小節

両手も下におろし行進をつゞける。

第九小節

第一小節と同じ(胸に)

第十小節

第一音で横に、第一、三音で下に、第四音で上にのばし行進をつゝける。

第十一小節

第一小節と同じ。（胸に）

第十二小節

第三小節と同じ。（横に）

第十三小節

手を下におろし同時に停止する。

第十四小節

停止したまゝ手を上にのばす。

第十五小節

やはり停止したまゝ第一音から第四音までは、手を横に、第五音から八音までは上にする。

第十六小節

停止したまゝ第一音から第三音までは手を横に、第四音で手を下にする、次に第一小節に戻る^ミ同時に又行進がはじまるわけである。

日の丸が構成出来るまで何回も揉かへして行ふ。

談
話

第一週

ジャックミ豆の木

有名なイギリス童話で、これをもじりしたいろ／＼の話が、大分作られてゐる。本格に運ばれてゐるこの筋なり人物なりは一度是非きかせておきたい。

第二週

火打箱
想像力の豊かなアンデルセンの作のこゝ故、縦横無盡に筋が展開してゆくので、本筋をそのままでは餘り複雑で話されない。いくらか省略した點もある。作者に對して、禮を缺く事になるかも知れないが、折角のこの面白い話を、その爲にやめるのも、残念である。この年齢に了解出来る程度に話をして、よい話といふものゝ永遠性を少しづゝでも濃くしてゆくのは、私達の任務でもあるような氣がする。

秋季皇靈祭

年少組では民間の彼岸の話をしたのであるが、(春季)皇靈祭は、いつも休暇中であるから秋季には、宮中で祭祀を行はせられる事を話しておく。その爲の休みである事も知らせておく。

東京市の話

この週は時話が多い。十五夜のお月見から話は始るわけであるが、二三日前から誘導の方で、供へ物の品々を作るので、豫備觀念が出來てゐる。

もうこの頃になれば、月そのものゝ話もしておくべきである。太陽、地球なきの天體としての中では、三日月から満月へと形の變る月は最も話しよい材料でもある。晴れた夜の大空に、まん圓なお月様を仰ぎ見る約束なきもする。

京都、大阪、等の地名をこり出して説明するのもいゝ。

月の鬼

相馬御風氏の作、「良寛さま」の中の一文である。月こ鬼

観察

第一週

こぼろぎ、ぱたこそれ等の巣

(年少組の記事参照) 年少組に於てはまだ巣立つ處まで観察するまでにならない。が年長組にもなれば當然の様に

子供の方から巣立つことを考へてそれをたづねようす

る。さうしたら一緒にさがさう。その時、こんなものに興味をもつ機會の少い女兒をも必ず共にし度いものである。

こぼろぎも、ぱたこその巣を草の間、物の蔭なぎに土に穴をあけて營む。拇指大のそんなに深くない穴である。

草の間が靜な時巣の外に出て陶然として翅をこすつて鳴いてゐる事がわかる。

蟬

の話はいろいろあるが、かういふ權威ある作者の話を聽かせる方がいゝと思つて選んだ。

ひまわり

夏らしく、丈高く大輪の大らかなよい花。この大きさを愛し度い。これでは一般の菊の花との類似を注意しよう。種子をも忘れずに観察させよう。

第二週

朝顔の花ご實。

(年少組参照) 實は子供達が一しょに収穫する事によつて

より具體的に活動的に観察出来る。黒い一つの種子を先生がきつてみて中の子葉を指示し、これが種子をまくまでのびてあさがほの雙葉になる事を話す。

おみこし

(年少組お祭参照) おみこしのかざりの美しさを観たあこ

手 技

夏休み中の見聞畫

自由畫でかゝせてみる。するご子供のみるごころ、一人一人についてのみ方を知る上の好資料にもなる。

第三週

ふよう

あふひ科の植物である。この頃咲く木の花として典型的なものであらう。ぬりゑにある處からそれはこの花であるといふ程度にする。

梨

實りの秋、色のいゝ果物が多い。梨に限らずようやく色つきはじめた柿もそれから栗も同じ意味をもつ材料として取扱ふ。一つには觀賞、一つには種子の比較。朝顔の時の如く中の子葉をみせる。幼稚園で味はひはどうであらうか。

自由畫 三回

第一週

年少組の時にもかゝせたがこの期になれば觀察範囲も廣

朝顔 果物 一回

く、且つ細かくなるのでなかなか面白いものがいつも澤山に出来る。

クレヨンばかりでなく毛筆や繪具で大きくかゝせるものもよい。三回あれば一組を三分してかはるく大きな紙にかゝせるよい。

ぬりゑ

ヒマハリ 一回

ヒマハリは栽培しやすい草花である、幼稚園の庭に數本ある。第一期保育がはじまる頃には雄大な姿がみられる。花のまわりは黄色に中央の種のところはうす茶色に葉は緑。幼児と一緒に觀察してぬらせる。

第二週

自由畫 一回

景色、果物、草花、人物などあるが幼稚園の庭の一部、花園の花數輪の寫生でもよい要するに部屋の中で机の上でかくごいふよりも出来だけ大きなものをかゝせるといふことに主點をおきたい。

鉢仕事

朝顔 果物 二回

朝顔は年少組同様に花壇の朝顔の前にいつてよく觀察したものを見たり蔓の一部分をとりてお部屋でこれを見ながら切つてもよい。

果物は柿、栗などを季節のものをえらんで切紙にする。

第三週

自由畫

けいこう 一回

この自由畫は別にけいこうに限つたものでない。秋草の中で手易く得られ且幼児が畫くのに都合のよいものを題材として畫かせればよいのである。

ぬりゑ

フヨウ

うす桃色、桃色、白などあれども桃色にぬる事にする。

粘土 お月見供へ用

おだんご 果物

おだんごも年少組と異り大きさもほどそろへて十三つくらい、果物も出来るだけ多くの種類のものをつくる事にす

る。

製作 敷物模様

これは誘導保育案による人形の家の敷物の模様である。幼児と相談しながら秋のことなれば種々の果物の模様なご適當である。

大體敷物と同形同大のハトロン紙などに下がきの心積りで、各自少しづゝ交代でかゝせる。さくらありバナナあり柿あり梨ありリンゴありといふやうにいろいろの果物がかきならべられる事でありませう。下がきのつもりで色々のこもあればこれにもクレヨンなどにて色をつける。

文部省主催保育講習につきましては七月六日の官報に発表されをりますが本誌廣告欄にもその抜萃をのせましたからごらん下さい。



尙七月二十六日、文部省主催保育講習の後午後より東京女子高等師範學校講堂に於て高市慶雄氏の「歐米の幼児教育視察談」がござります。御聽講を望みます。

昨年八月十日、英國オックスフォードに開催された第八回世界教育聯盟會議に帝國代表として出席、幼兒館副社長高市慶雄氏は、爾來、英、佛、伊、白、獨、

日本幼稚園協会編輯 幼児の教育

會長 東京女子高等師範學校校長 下村壽一

主幹 東京女子高等師範學校教授 附屬幼稚園主任 倉橋惣三

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ萬志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費ヲシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ醸出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘン

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査更スルコトヲ得ス

會ノ開催

一、雜誌發行(毎月一回)

二、幼兒教育ニ關スル圖書刊行、保姆就職及招聘ニ關スル仲介

三、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

幹事 若干名 會長一名 會務ヲ總理ス

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年

ノトス ロ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分之二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

價定	
一ヶ月分	金參拾五錢
牛ヶ年分	金四圓貳拾錢
拾貳冊送料	金貳拾錢
冊送料	金拾五錢
金拾五錢	金拾五錢
一等面一頁	一等面一頁以下
圓御断	圓御断
神田區駿河臺ノ品田	廣告社に御申込下さい
告	廣告

(外國行郵稅は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
昭和十一年七月十五日發行

幼兒の教育 第三十六卷 第七號

不許複製轉禁 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

發行者 倉橋惣三 印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込町百七十二番地

東京市小石川區大塚町三十五番地

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

聯合會社

東京一七二六番日本幼稚園協會

振替口座東京一七二六番

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。

一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座

一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せられたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其筋は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

夏休み前から

お休みへかけて
御用意はたゞいま！

涼しい、おみやげ品の手抜材料ご
お子様方の歡ぶ保育品のいろいろ

◇圓扇 淡い、紅、黃、紫、綠、水
色の五種。何れも貼紙クレオン等で
意匠して用ひます。

◇紙舟 茶ボールに印刷した厚紙細
工、剪つて開き紙舟で止め、クレオン
等で意匠して水に浮かせます。

◇木舟 木製のお舟、エナメルで仕
上げ水に浮かせます。

◇噴水 水槽、水管、噴水孔付水盤錢
の一揃

◇龍吐水 木製、一臺金二十五圓
金属製ラック一塗装、ホース付
籠附屬。

◇撒水車 便利で應用自在。金二十
錢一個。

◇砂場用具 一號品はパケツ、二
木鋤、新案杓子。二號品は鐵製シヤ
ベル、ホーレー、キ、ホーリク、板箕、
籠附屬。

◇砂場の汽車とトンネル 二號
中紙付 金五十圓

◇盆提灯用織紙 一組 金三十五
錢の二種、形は赤、水色の紋
作れます。

◇砂場の汽車とトンネル 金七十五
錢



食官ルレベーレフ 社會株式

番七二八三(33)段九話電・二町保神・田神・京東 店本

番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所張出